

SONY®

ホームステーション 取扱説明書



XYZ

HDD AV NAVI SYSTEM

NV-XYZ88/XYZ77/XYZ33
NVA-HS1

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

本機は、安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故の原因となります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

© 2004 Sony Corporation

はじめに	11
準備	15
ナビゲーション	
—XYZマップマネージャーを使う...25	
音楽	
—SonicStageを使う...45	
ビデオ	
—XYZビデオマネージャーを使う...57	
写真	
—XYZデスクトップを使う...67	
メール	
—XYZデスクトップを使う...77	
ホームページ (WEB)	
—XYZデスクトップを使う...81	
ファイル	
—XYZデスクトップを使う...87	
データの管理と更新	93
その他	105

目次

本書で使っている画像は、スチル画像によるイメージのため、実際の画面とは見えかたが異なる場合があります。

本書では操作の内容に応じて、以下の記号を記載しています。

PC ↔ XYZ

パソコンとXYZ(ジーゼット)本体の間で、データを転送*(または移動)する操作です。

* 本書の「転送する」とは、パソコンとXYZ本体の間でデータをコピーすることを意味します。

PC → XYZ

パソコンからXYZ本体へ、データを転送する操作です。

PC

パソコンのみで行う操作です(パソコンとXYZ本体を接続した状態でも操作できます)。

安全のために	5
⚠ 警告・注意	6
使用上のご注意	9

はじめに

XYZを楽しむには?	12
本書とヘルプの使いかた	14

準備

準備1: 付属品を確認する	16
準備2: パソコン環境を確認する	17
準備3: ソフトウェアをインストールする	18
準備4: ホームステーションを接続する	21
ホームステーションをパソコンに接続する	21
XYZ本体をホームステーションに取り付ける	22
XYZ本体の電源を入れて転送モードにする	22



ナビゲーション

—XYZマップマネージャーを使う

XYZマップマネージャーでできること	
—「地図データ」や「検索データ」を退避する/戻す/追加する	26
XYZマップマネージャーを起動する/終了する	27
XYZマップマネージャー画面各部のはたらき	28
「地図データ」や「検索データ」を退避する/戻す	31
「地図データ」や「検索データ」をXYZ本体からパソコンに退避する	31
「地図データ」や「検索データ」をパソコンからXYZ本体に戻す	32
「地図データ」や「検索データ」を削除する/リカバリする	33
XYZ本体の「地図データ」や「検索データ」を削除する	33
「地図データ」や「検索データ」をナビ用リカバリDVD-ROMからXYZ本体にリカバリする	34
「地図データ」や「検索データ」をダウンロードする	36
マークを転送する	38
XYZ本体のマークをパソコンに保存する	38
パソコンのマークをXYZ本体に追加する	39
パソコンのマークでXYZ本体のマークを書き換える	39
「地図データ」を修復する	40
XYZマップマネージャーのヘルプを見る	42



音楽

— SonicStage を使う

SonicStage でできること	
— 音楽を楽しむ	46
SonicStage を起動する/終了する	47
SonicStage 画面各部のはたらき	48
パソコンに音楽ファイルを取り込む	50
曲を音楽CDからパソコンに取り込む	50
曲をインターネットからパソコンにダウンロードする	51
音楽ファイルを転送/管理する	52
曲をパソコンからXYZ本体に転送する	52
XYZ本体の曲をパソコンで並べ替える	53
XYZ本体の曲をパソコンで削除する	53
曲をXYZ本体からパソコンに戻す	53
SonicStage のヘルプを見る	54



ビデオ

— XYZビデオマネージャーを使う

XYZビデオマネージャーでできること	
— ビデオを転送/管理する	58
XYZビデオマネージャーを起動する/終了する	59
XYZビデオマネージャー画面各部のはたらき	60
ビデオを転送/管理する	61
Do VAIOもGiga Pocketも付いていないパソコンからビデオをXYZ本体に転送する	61
Do VAIO付きパソコンからビデオをXYZ本体に転送する	62
Giga Pocket付きパソコンからビデオをXYZ本体に転送する	63
XYZ本体のビデオのタイトルをパソコンで編集する	63
XYZ本体のビデオをパソコンで削除する	64
XYZビデオマネージャーのヘルプを見る	65



写真

— XYZデスクトップを使う

XYZデスクトップでできること	
— 写真を転送する	68
XYZデスクトップを起動する/終了する	69
XYZデスクトップ画面各部のはたらき	70
写真を転送/管理する	71
写真をXYZ本体からパソコンに転送する	71
写真をパソコンからXYZ本体に転送する	72
XYZ本体の写真をパソコンで削除する	73
XYZデスクトップのヘルプを見る	74



メール

— XYZデスクトップを使う

XYZデスクトップでできること	
— メールアドレスを転送する	78
メールアドレスを転送/管理する	79
メールアドレスをパソコンからXYZ本体に転送する	79
XYZ本体のメールアドレスをパソコンで編集する	80



ホームページ (WEB)

— XYZデスクトップを使う

XYZデスクトップでできること	
— ホームページ (WEB) を転送する	82
ブックマークやHTMLファイルを転送する	83
ブックマークをパソコンからXYZ本体に転送する	83
HTMLファイルをパソコンからXYZ本体に転送する	84
XYZ本体のHTMLファイルをパソコンで削除する	85
HTMLファイルをXYZ本体からパソコンに転送する	85
パソコンでXYZ本体のホーム設定を行う	86



ファイル — XYZデスクトップを使う

XYZデスクトップでできること	
— ファイルやフォルダを転送する.....	88
ファイルやフォルダをパソコンから	
XYZ本体に転送する	89
ファイルやフォルダを転送/管理する	89
XYZ本体のファイルやフォルダを	
パソコンで削除する	90
ファイルやフォルダをXYZ本体から	
パソコンに転送する	91

データの管理と更新

ネットワークプロファイルの設定や変更を	
する	94
XYZ本体とパソコンのデータを同期させる	
— Sync.....	96
XYZ本体のデータをバックアップする/ リストアする.....	98
XYZ本体のデータをバックアップする.....	99
XYZ本体のデータをリストアする.....	99
XYZ本体のパーティションを変更する ...	100
「パーティション変更」とは.....	100
パーティション変更の流れ	101
ソフトウェアの最新情報を確認する	104
XYZ本体のファームウェアを更新する機能	
について	104

その他

主な仕様.....	106
お手入れ.....	107
商標と著作権について.....	108
困ったときは	109
エラーメッセージ	111
保証書とアフターサービス	112
用語集	112
索引.....	115

警告 安全のために

本機はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより、人身事故の原因となります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この「ホームステーション取扱説明書」の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに痛みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかりと差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ホームステーションや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- ホームステーションを落としたり、破損したりしたとき



- ① XYZ本体の電源を切る。
- ② ホームステーションの電源コードやACアダプターを抜く。
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼を依頼する。

警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

行為を指示する記号



指示



プラグをコンセントから抜く



下記の注意を守らないと**火災・感電**、により
死亡や大けがの原因となります。

指定のACアダプター以外は使用しない

火災や感電の原因となります。



禁止

内部に水や異物を入れない

火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、ソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止

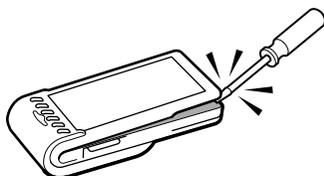


分解や改造をしない

火災や感電、けが、事故の原因となります。内部の点検や修理は、ソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止

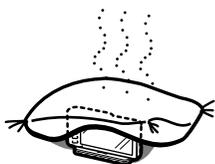


本機の通風口をふさがない

通風口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となります。



禁止

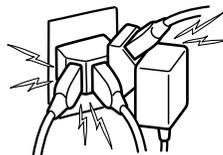


たこ足配線をしない

配線器具をたこ足配線して定格を超えた電流が流れると、火災などの原因となります。



禁止



電源プラグは定期的に手入れをする

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、ショートして、火災の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、定期的にゴミやほこりを取ってください。



指示

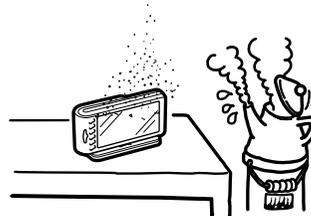


油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所への設置や「取扱説明書」に記載されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となります。



禁止





下記の注意を守らないと**火災・感電**、により
死亡や大けがの原因となります。

**旅行などで長期間使用しないときは、
電源プラグを抜く**

長期間電源プラグを差したままだと、火災の原因となります。



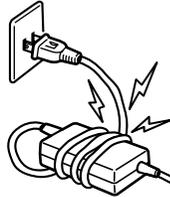
プラグをコンセントから抜く

**ACアダプターコードや電源コードを
ACアダプターに巻き付けない**

断線して火災の原因となります。



禁止





下記の注意を守らないと**けが**をしたり
周辺の**物品に損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手でACアダプターをさわらない
ぬれた手でACアダプターを抜き差しすると、
感電の原因となることがあります。



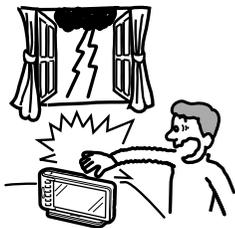
禁止

雷が鳴り出したら、ホームステーショ
ンや電源プラグ、USBケーブル、XYZ
本体にふれない

感電の原因となることがあります。



禁止



通電中のXYZ本体やACアダプター
に長時間触れない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温
やけどの原因となることがあります。



禁止

子どもの手の届かない場所に設置する

はずれた部品を飲み込んだり、落としてけがを
したりするなど、事故の原因となることがあり
ます。



指示

XYZ本体を取り付けた状態でホーム
ステーションを持って運ばない

XYZ本体がホームステーションからはずれて
落下し、けがの原因となることがあります。



禁止

電源コードは人が歩く場所に配線しない

電源コードが、人が歩く場所にはみ出ていると、
つまずいたり、足をひっかけて落下したりして、
けがの原因となることがあります。



禁止



不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所などに置かない
てください。落下してけがの原因となることが
あります。



禁止



使用上のご注意

ここでは主に、ホームステーションの取り扱いについて記載しています。

「重要なお注意」（別冊の「取扱説明書」10ページ）、「使用上のご注意とお手入れ」（別冊の「取扱説明書」184ページ）もあわせてお読みください。

重要！

必ず下記のことを守ってください。守らないとXYZ本体の機能が使えなくなります。

- XYZ本体のハードディスクは、パソコンからフォーマットしない。
- 指定されたソフトウェア以外で、XYZ本体のハードディスクのファイルを追加/削除/移動したり、ファイル名を変更したりしない。

ハードディスクについて（ハードディスクを壊したり、大切なデータを失ったりしないために）

何らかの原因でハードディスクが故障した場合、データの修復はできません。大切なデータを失うことのないよう、このページをよく読み、特に以下の点に注意して、正しくお使いください。なお、XYZ本体のハードディスクの記録内容の補償について、弊社は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

- 激しい振動が加わる場や不安定な場所を使わないでください。
- 電源を入れたまま本機を動かさないでください。
- データの転送中や書き込み中、読み込み中（XYZ本体のハードディスクアクセスランプが点灯中）は、絶対に以下の操作をしないでください。
 - パソコンやXYZ本体の電源を切る/リセットする。
 - USBスイッチを動かす。
 - USBケーブルを抜く。
 - XYZ本体をホームステーションからはずす。
 - ホームステーションのACアダプターをはずす。

- 急激な温度変化（毎時10℃以上の変化）のある場所では使わないでください。
- テレビやスピーカー、磁石、磁気プレスレットなどの磁気を帯びたものを本機に近づけないでください。

データのバックアップのお願い

ソフトウェア更新時や修理時にデータが消失したり変更されたりすることがまれに発生します。これらの作業を行う前にデータはお客様自らがバックアップされるようお願いいたします。データの消失に関する補償やそれに付随する損害には、弊社は一切の責任を負いかねます。なお、“メモリースティック”などの記録媒体そのものの故障の場合にも、データの修復はできません。大切なデータは定期的にバックアップすることをお勧めします。

置き場所について

- ホームステーションの底面よりも広くて水平で丈夫な場所においてください。
- ホームステーションを以下のような場所に置くと、故障や変形の原因となります。
 - めれた場所
 - 風呂場など湿気の多い場所
 - 異常に高温/低温/多湿になる場所
 - 振動の多い場所
 - 高い場所
 - 床など、踏んだりつまづいたりしやすい場所
 - ゴムやプラスチックなど、熱で溶けたり、変形したりしやすい場所
- ACアダプターは本棚や組込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。

次のページにつづく ➡

取り扱いについて

- 以下の点に注意して取り扱いしてください。故障や変形の原因となります。
 - 落とさない。
 - 強いショックを与えない。
 - 重いものを載せない。
 - XYZ本体をホームステーションから取りはずしたり、ホームステーションに取り付けたりする際に、XYZ本体の画面を強く押さない。
- XYZ本体をホームステーションに無理に取り付けしないでください。接続端子が壊れる原因となることがあります。
- 端子部などに水や砂などの異物を入れないでください。万一水や砂などの異物が入ったときは、すぐにXYZ本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。
- 接続端子に金属物や金属片が触れないようにしてください。接続端子がショートすることがあります。
- 開けたり分解したりしないでください。
- XYZ本体を持ち運ぶ際には必ず付属のキャリングケースを使ってください。(キャリングケースはXYZ本体を傷から守るためのものであり衝撃を防ぐためのものではありません。取り扱いにはご注意ください。)

接続について

- 必ず、付属のACアダプターを使用して電源(AC100V)につないでください。
- ACアダプターは容易に手が届くようなコンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- コード類につまづいたり、コード類が他のものにはさまったりしないようにしてください。
- 指定されたコードをお使いください。本書に記載されたコードを使用しないと、故障の原因となることがあります。
- コードなどを接続するときには、XYZ本体や接続する機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。

発熱について

- 使用中にXYZ本体やACアダプターが熱くなることがありますが、故障ではありません。
- XYZ本体やACアダプターが普段よりも異常に熱くなったときは、XYZ本体の電源を切り、ACアダプターの電源コードを抜いてください。
次にソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

著作権について

あなたがホームステーションでXYZ本体に転送したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ソフトウェアの不正コピー禁止について

付属のインストールCD-ROMに収録されているソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。

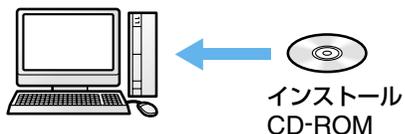
はじめに

XYZを楽しむには？	12
本書とヘルプの使いかた.....	14

XYZを楽しむには？

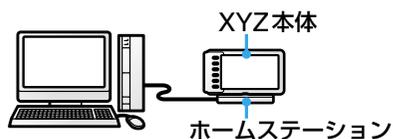
1 インストールする

付属のインストールCD-ROMに収録された4種類のソフトウェアを、パソコンにインストールします(18ページ)。



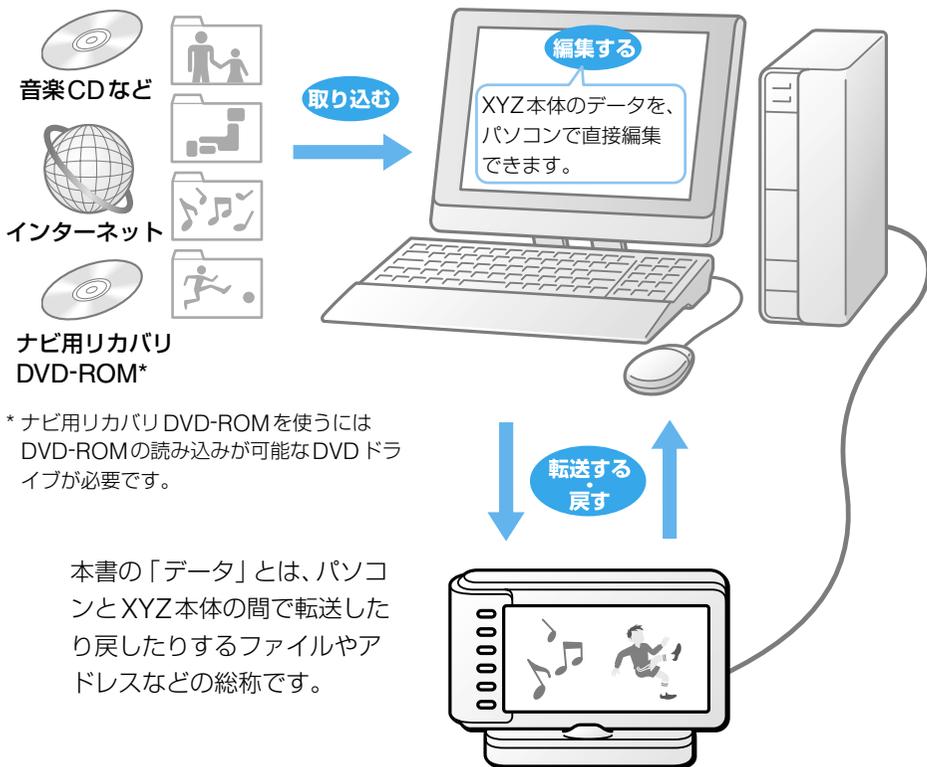
2 接続する

- ① ホームステーションをパソコンにつなぎます(21ページ)。
- ② XYZ本体をホームステーションに取り付け、電源を入れます(22ページ)。
- ③ USBスイッチをONにします(22ページ)。



3 転送/管理する

曲やビデオをXYZ本体に転送したり、「地図データ」や「検索データ」をリカバリしたりなど、パソコンとXYZ本体の間でデータの転送や管理ができます。



* ナビ用リカバリDVD-ROMを使うにはDVD-ROMの読み込みが可能なDVDドライブが必要です。

本書の「データ」とは、パソコンとXYZ本体の間で転送したり戻したりするファイルやアドレスなどの総称です。



XYZデスクトップ*

写真やメールアドレス、ブックマークなど、さまざまなデータの転送や管理ができるソフトウェアです。以下の3つのソフトウェアを起動するランチャーにもなります。



XYZビデオマネージャー*

ビデオの転送や管理ができるソフトウェアです。

次のような操作ができます。

- パソコンからビデオをXYZ本体に転送する
- XYZ本体のビデオのタイトルをパソコンで編集する
- XYZ本体のビデオをパソコンで削除する



XYZマップマネージャー*

「地図データ」や「検索データ」の転送や管理ができるソフトウェアです。

次のような操作ができます。

- 「地図データ」や「検索データ」をパソコンに退避する/XYZ本体に戻す
- 「地図データ」や「検索データ」を削除する/リカバリーする
- 最新の「地図データ」や「検索データ」をインターネットで購入し、XYZ本体に転送する
- 「マーク」を転送する
- 「地図データ」を修復する



SonicStage*

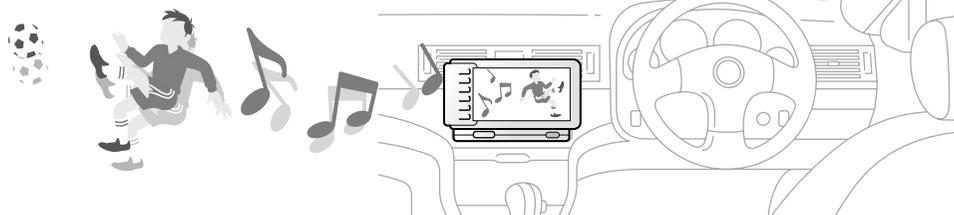
曲（音楽ファイル）の転送や管理ができるソフトウェアです。

次のような操作ができます。

- パソコンに音楽ファイルを取り込む
- 音楽ファイルをXYZ本体に転送する
- XYZ本体の曲をパソコンで並べ替える/削除する/戻す

* ソフトウェアの最新情報を確認するときは、104ページの手順に従ってください。

車で楽しむ



本書とヘルプの使いかた

ホームステーションおよび付属のソフトウェアの使いかたは、本書だけでなく、付属のソフトウェアのヘルプでも見ることができます。目的に応じて、本書とヘルプを使い分けてください。



本書

ソフトウェアのインストール方法やXYZ本体の準備、ソフトウェアの基本的な使いかたなどが記載されています。

ソフトウェアのインストール

ホームステーションの接続

XYZ本体の準備

ヘルプの見かた

各ソフトウェアの基本的な使いかた
(ファイルの転送など)

各ソフトウェアでできること

各ソフトウェアの起動

各ソフトウェアの画面の見かた

扱えるファイルの種類

各ソフトウェアの詳しい使いかた
(ファイルの転送・編集・削除など)

各ソフトウェアやファイルの設定方法

各ソフトウェアを使っていて
困ったときの対処法

ヘルプ

ソフトウェアの使いかたなどの説明を、パソコンの画面で見ることができる機能です。本書よりさらに詳しい説明が記載されています。



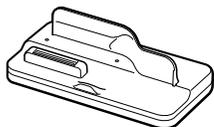
準備

準備1：付属品を確認する	16
準備2：パソコン環境を確認する	17
準備3：ソフトウェアをインストールする	18
準備4：ホームステーションを接続する	21

準備1：付属品を確認する

以下の付属品がそろっているか、確かめてください。

ホームステーション



AVコード



電源コード



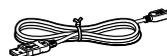
ACアダプター



インストールCD-ROM



USBケーブル



「ホームステーション
取扱説明書」(本書)

保証書

準備2：パソコン環境を確認する

付属のインストールCD-ROMに収録されたソフトウェアを使うには、以下のハードウェアが必要です。パソコンの取扱説明書をお読みのうえ、パソコン環境を確認してください。

パソコン	規格：IBM PC/AT 互換機 - CPU：Pentium II プロセッサ 400MHz以上 （Pentium III 450MHz以上推奨） - ハードディスク：200MB以上の空き容量（1.5GB以上推奨） - RAM：64MB以上（128MB以上推奨） - CD-ROMドライブ - USBポート
OS*	Windows Me、Windows 2000、 Windows XP Home Edition/Professional （いずれもDirectX 8.0a以降をインストール）
ディスプレイ	ハイカラー（16ビットカラー以上）、800×600ドット以上
その他	<ul style="list-style-type: none">インターネット音楽配信サービスを利用するときやソフトウェアの最新情報を確認するときは、インターネットへの接続環境ナビ用リカバリDVD-ROMを使うときは、DVD-ROMの読み込みが可能なDVDドライブ

* SonicStageのみWindows 98SEでも使えます。

以下のシステム環境での動作は保証いたしません。

- NEC PC98シリーズとその互換機、またはMacintoshなど
- Windows XPのHome Edition/Professional以外のバージョン
- Windows NT
- Windows 95
- 自作パソコン
- 標準インストールされているOSから他のOSへのアップグレード環境
- マルチモニタ環境
- マルチブート環境

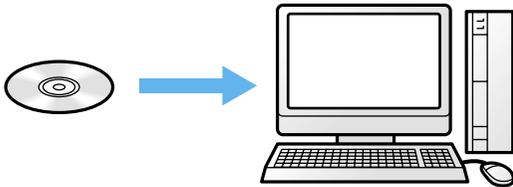
ご注意

- 推奨環境のすべてのパソコンについて、動作を保証するものではありません。
- Windows 2000の場合は、Service Pack3以降を導入して使ってください。
- すべてのパソコンに対して、システムサスペンド、スリープ（スタンバイ状態）、ハイバネーション（休止状態）などの動作を保証するものではありません。
- 付属のソフトウェアが動作するには、DirectX 8.0a以降がインストールされたOSが必要です。

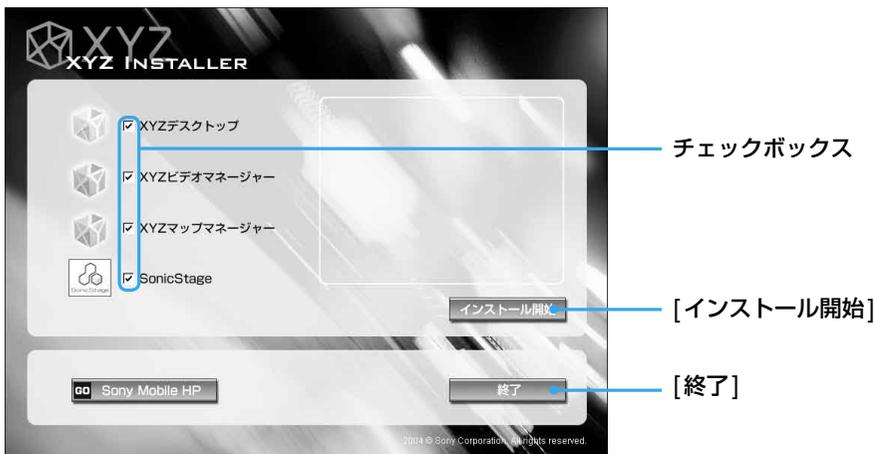
準備3：ソフトウェアをインストールする

PC

付属のインストールCD-ROMに収録された4種類のソフトウェアをインストールします。各ソフトウェアの役割については、12ページをご覧ください。



インストールスタート画面



インストールの前に

- インストールするときは、Windowsのほかのプログラムをすべて終了してください。特にウイルスチェックソフトは必ず終了してください。
- OpenMG Jukebox、SonicStage、SonicStagePremium、SonicStage Simple Burner、Net MD Simple Burnerがすでにインストールされている場合も、インストールCD-ROMを使って、SonicStageをインストールしてください。お使いのソフトウェアのバージョンによっては、このソフトウェアで上書きされたり、共存したりする場合があります。上書きインストールしても、共存しても、それまでに登録した曲（音楽ファイル）は引き続き使えますが、念のため、曲のバックアップをとることをおすすめします。バックアップの方法については詳しくは、現在お使いのOpenMG Jukebox、またはSonicStageのヘルプをご覧ください。

- 1 パソコンの電源を入れる。**
必ず管理者権限 (Administrators) でログオンしてください。
詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 2 インストールCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる。**
自動的にインストールスタート画面が表示されます。
インストールスタート画面が表示されないときは
[スタート] メニュー → [マイ コンピュータ] の順にクリックし、CD-ROMアイコンをダブルクリックしてください。
インストールしたくないソフトウェアがあるときは
インストールしないソフトウェアのチェックボックスをクリックし、 にします。
- 3 [インストール開始]をクリックする。**
チェックボックスが になっているソフトウェアのインストールが始まります。
- 4 画面の指示に従って操作する。**
画面に表示される注意事項をよく読んで、操作してください。
- 5 パソコンを再起動する。**
インストールしたソフトウェアが、パソコンで使えるようになります。インストールできないときは、109ページをご覧ください。

インストールを終了するには

[終了]をクリックします。

アンインストールするには

アンインストールの方法は、パソコンのOSによって以下のように異なります。

Windows XPの場合

コンピュータの管理者権限 (Administrators) のアカウントでログオンしてから、以下の手順で操作してください。ログオン方法について詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

- 1 [スタート] メニュー → [コントロールパネル] の順にクリックする。
- 2 [プログラムの追加と削除] をダブルクリックする。
- 3 現在インストールされているプログラムから、削除するソフトウェアをクリックする。
- 4 [変更と削除] をクリックする。

次のページにつづく ➡

ご注意

管理者権限 (Administrators) 以外のアカウントでログオンすると、ソフトウェアを正しくインストールできません。

ちょっと一言

デスクトップにマイ コンピュータアイコンがあるときは、マイ コンピュータアイコン → CD-ROMアイコンの順にダブルクリックしても、インストールスタート画面を表示できません。

Windows 2000の場合

管理者権限 (Administrators) のアカウントでログオンしてから、以下の手順で操作してください。ログオン方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

- 1 [スタート] メニュー → [設定] → [コントロールパネル] の順にクリックする。
- 2 [アプリケーションの追加と削除] をダブルクリックする。
- 3 現在インストールされているプログラムから、削除するソフトウェアをクリックする。
- 4 [変更と削除] をクリックする。

Windows Meの場合

- 1 [スタート] メニュー → [設定] → [コントロールパネル] の順にクリックする。
- 2 [アプリケーションの追加と削除] をダブルクリックする。
- 3 自動的に削除できるソフトウェアから、削除するソフトウェアをクリックする。
- 4 [追加と削除] をクリックする。

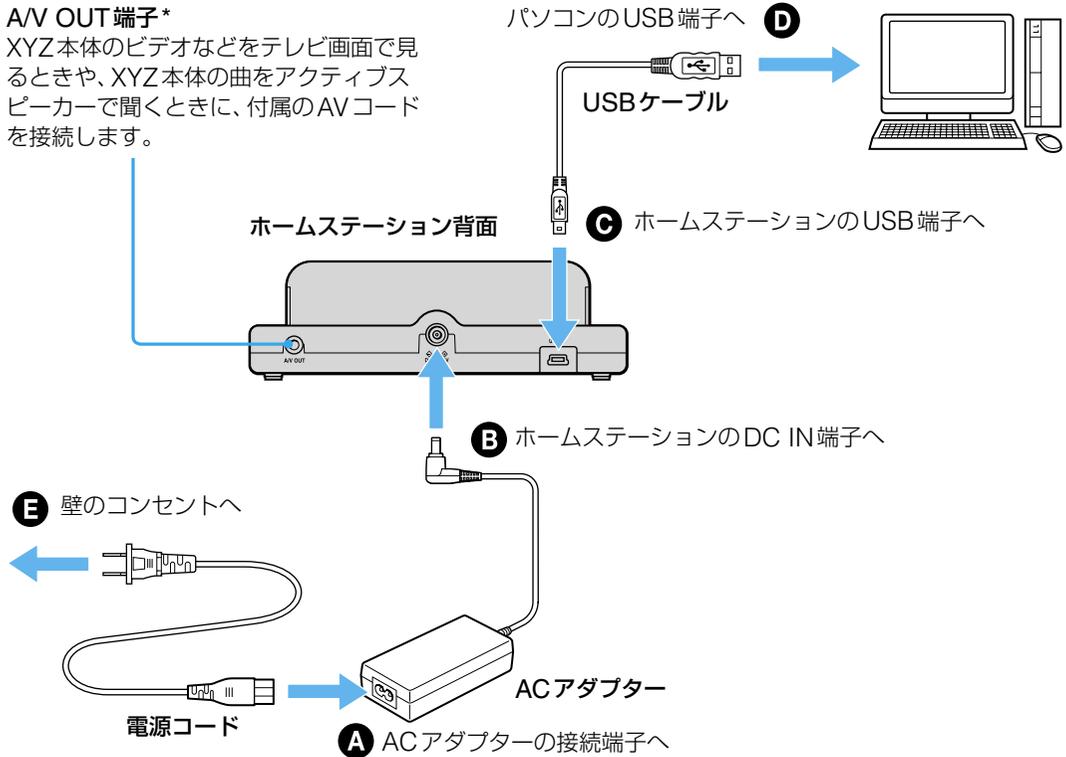
準備4：ホームステーションを接続する

ホームステーションをパソコンに接続する

準備

A/V OUT 端子*

XYZ本体のビデオなどをテレビ画面で見るときや、XYZ本体の曲をアクティブスピーカーで聞くとときに、付属のAVコードを接続します。



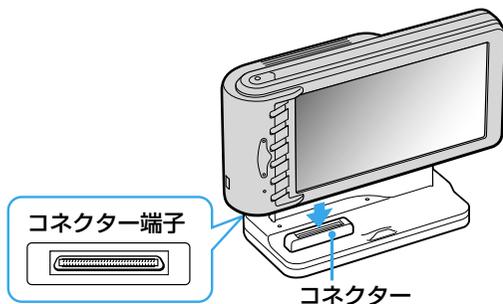
*出力される信号は、ビデオ（映像/音声）と音楽（音声）のみ

- 1 電源コードのプラグをACアダプターの接続端子に差し込む**(A)**。
- 2 ACアダプターのプラグを、ホームステーション背面のDC IN端子に差し込む**(B)**。
- 3 USBケーブルのプラグをホームステーション背面のUSB端子に差し込む**(C)**。
- 4 USBケーブルのもう一方のプラグをパソコンのUSB端子に差し込む**(D)**。
パソコンのUSB端子の位置については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 5 電源コードをコンセントにつなぐ**(E)**。

次のページにつづく →

XYZ本体をホームステーションに取り付ける

XYZ本体底面のコネクタ端子をホームステーションのコネクタに、根元までしっかり差し込む。



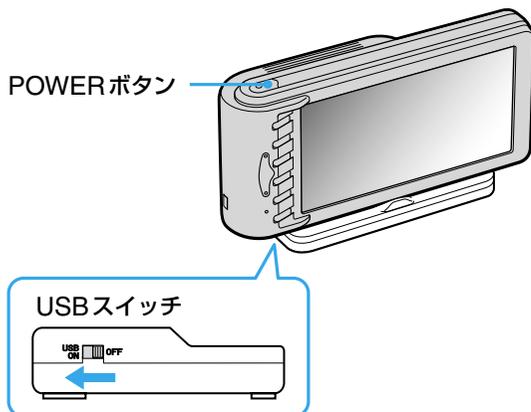
ご注意

XYZ本体をホームステーションに無理に取り付けないでください。故障の原因になります。

XYZ本体をホームステーションから取りはずすには

XYZ本体をホームステーションから真上に引き抜きます。

XYZ本体の電源を入れて転送モードにする



- 1** XYZ本体のPOWER ボタンを押す。
XYZ本体の電源が入ります。
- 2** ホームステーション側面のUSBスイッチをONにする。
XYZ本体とパソコンの間でデータの転送や管理ができる状態になります（転送モード）。

ご注意

- USBスイッチをONにしないと、XYZ本体とパソコンの間でデータを転送できません。
- USBスイッチをOFFにするときは、23ページの手順に従ってXYZ本体の電源を切ってからOFFにしてください。正しい手順でOFFにしないと、データが壊れる可能性があります。

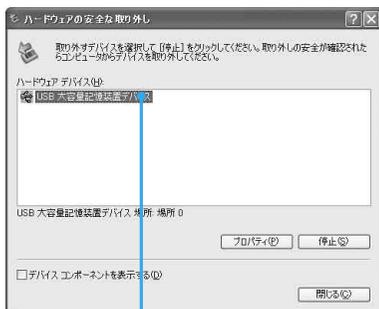
XYZ本体の電源を切るには

- 1 タスクトレイの  (ハードウェアの安全な取り外し*) をダブルクリックする。



* Windows 2000/Me の場合は、ハードウェアの取り外し

- 2 [USB 大容量記憶装置デバイス*] をダブルクリックする。



[USB 大容量記憶装置デバイス]

* Windows Me の場合は、USB ディスク

- 3 [SONY Mobile HDD USB Device*] をクリックし、[OK] をクリックする。



[SONY Mobile HDD USB Device]

* Windows Me の場合は、SONY F

ホームステーションをパソコンから安全に取りはずせる状態になり、パソコンの画面にメッセージが表示されます。

- 4 XYZ 本体の POWER ボタンを長押しする。

ご注意

正しい手順で電源を切らないと、データが壊れる可能性があります。

ちょっと一言

Windows2000 をお使いの場合で、タスクトレイにアイコン (ハードウェアの取り外し) が無いときは、手順4の操作の前に、[スタート] メニュー → [設定] → [コントロールパネル] → [ハードウェアの追加と削除] の順にクリックし、ハードウェアの追加と削除ウィザードの指示にしたがって操作してください。詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。



ナビゲーション

—XYZマップマネージャーを使う

XYZマップマネージャーでできること

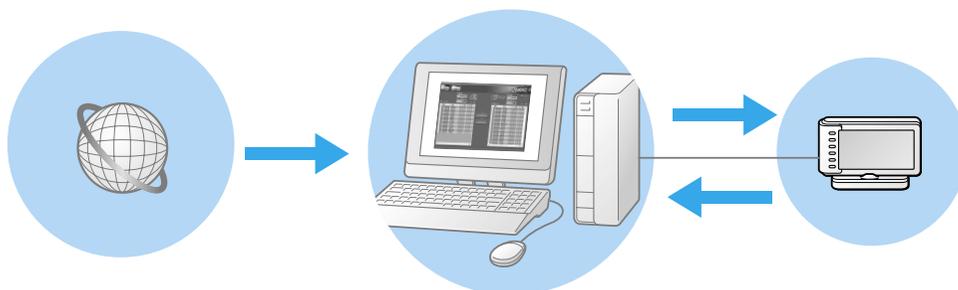
—「地図データ」や「検索データ」を退避する/戻す/追加する	26
XYZマップマネージャーを起動する/終了する	27
「地図データ」や「検索データ」を退避する/戻す	31
「地図データ」や「検索データ」を削除する/リカバリする ...	33
「地図データ」や「検索データ」をダウンロードする	36
マークを転送する	38
「地図データ」を修復する	40
XYZマップマネージャーのヘルプを見る	42

XYZマップマネージャーでできること

—「地図データ」や「検索データ」を退避する/戻す/追加する

XYZマップマネージャーは以下のように、「地図データ」や「検索データ」をXYZ本体とパソコンの間で退避したり戻したり、XYZ本体に追加したりできます。

なお、本書の「退避する」とは、XYZ本体の「地図データ」や「検索データ」をパソコンに移動することを意味します。



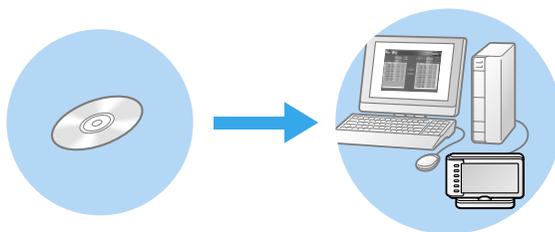
最新（最新）の「地図データ」や「検索データ」をダウンロードする

インターネットで地図データを購入し、XYZ本体に追加できます。

「地図データ」や「検索データ」を退避する/戻す

ふだん使わない地域の「地図データ」や「検索データ」をパソコンのハードディスクに退避させ、より多くの曲やビデオなどを転送できます。退避させた「地図データ」や「検索データ」は、必要なときにXYZ本体に戻せます。

パソコンの空き容量が不足しているときは退避先のパソコンのハードディスクの空き容量が不足している場合は、「地図データ」や「検索データ」をXYZ本体から削除してください。削除した「地図データ」や「検索データ」は、必要なときにナビ用リカバリDVD-ROM*からXYZ本体に戻せます。



*ナビ用リカバリDVD-ROMを使うにはDVD-ROMの読み込みが可能なDVDドライブが必要です。

ご注意

- 「地図データ」や「検索データ」の数や大きさによっては、退避させたり戻したりするのに時間がかかることがあります。
- 「地図データ」や「検索データ」は、パソコンの空き容量が足りないとき以外は削除せずに、パソコンに退避させてください。

XYZマップマネージャーを起動する/終了する

PC

XYZマップマネージャーはXYZデスクトップ画面から起動します。

- 1 デスクトップの  (XYZデスクトップ) をダブルクリックし、XYZデスクトップを起動する。

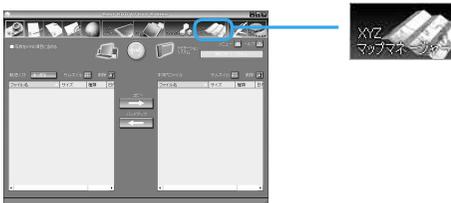


XYZデスクトップ画面が表示されます。

デスクトップに  (XYZデスクトップ) がないときは
[スタート]メニュー → [すべてのプログラム]* →
[Sony XYZ] → [XYZデスクトップ] → [XYZデスクトップ]
の順にクリックします。

* Windows 2000/Meでは[プログラム]

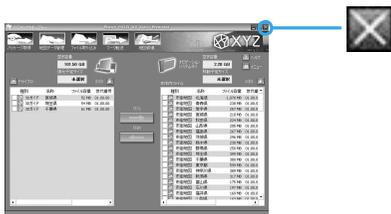
- 2 XYZデスクトップ画面の  をクリックし、XYZマップマネージャーを起動する。



XYZマップマネージャー画面が表示されます。

XYZマップマネージャーを終了するには

XYZマップマネージャー画面の  をクリックします。



ちょっと一言

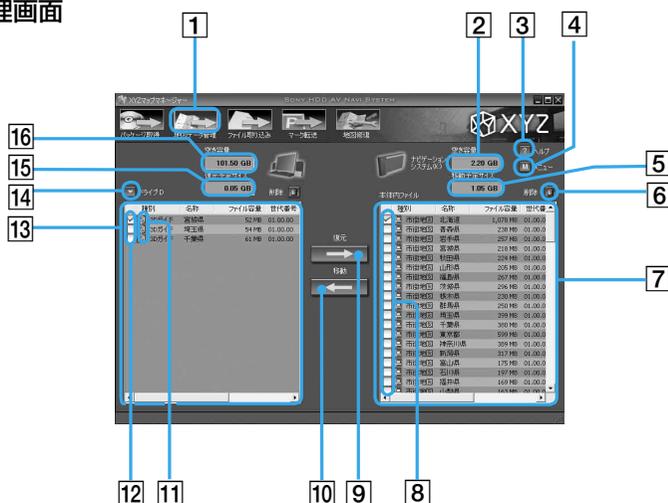
- デスクトップに  (XYZマップマネージャー) があるときは、 (XYZマップマネージャー) をダブルクリックしても、XYZマップマネージャーを起動できます。
- XYZマップマネージャーについての詳しい操作説明は、ヘルプで見ることができます(42ページ)。

次のページにつづく →

XYZマップマネージャー画面各部のはたらき

XYZマップマネージャーを起動すると、以下の画面が表示されます。

地図データ管理画面



1 XYZマップマネージャー画面を表示します。



2 XYZ本体の空き容量
XYZ本体のハードディスクの空き容量を表示します。



3 XYZマップマネージャーのヘルプを表示します。



4 XYZマップマネージャーのメニューを表示します。



5 移動予定サイズ
パソコンに退避する「地図データ」や「検索データ」の合計サイズを表示します。



6 XYZ本体の「地図データ」や「検索データ」を削除します。



7 移動地図データリスト
XYZ本体の「地図データ」や「検索データ」を表示します。



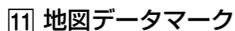
8 チェックボックス
パソコンに移動する「地図データ」や「検索データ」を選びます。



9 (復元)
保存地図データリストの「地図データ」や「検索データ」をXYZ本体に戻します。



10 (移動)
移動地図データリストの「地図データ」や「検索データ」をパソコンに退避します。



11 地図データマーク
「地図データ」や「検索データ」の種類によって表示が異なります。詳しくは、XYZマップマネージャーのヘルプをご覧ください(42ページ)。



12 チェックボックス
XYZ本体に戻す「地図データ」や「検索データ」を選びます。



13 保存地図データリスト
パソコンに保存されている「地図データ」や「検索データ」を表示します。



14 (データ管理フォルダ)
保存フォルダの変更ウィンドウを表示します。「地図データ」や「検索データ」を保存する場所を選ぶときにクリックします。

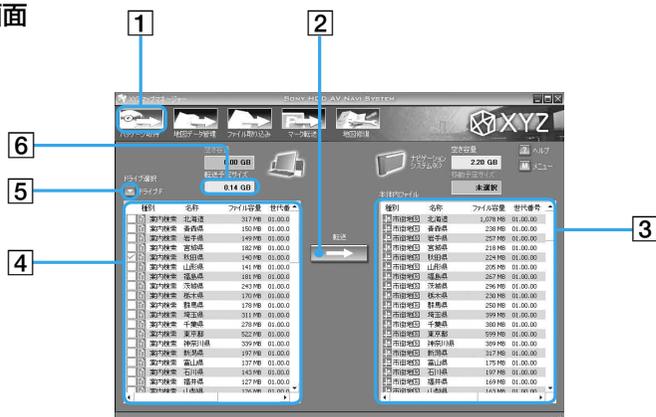


15 復元予定サイズ
XYZ本体に戻す「地図データ」や「検索データ」の合計サイズを表示します。



16 パソコンの空き容量
パソコンのハードディスクの空き容量を表示します。

パッケージ取得画面



1 パッケージ取得画面を表示します。



2 (転送)
パッケージ地図データリストの「地図データ」や「検索データ」をXYZ本体に転送します。

3 保存地図データリスト

XYZ本体の「地図データ」や「検索データ」を表示します。

4 パッケージ地図データリスト

DVDドライブに挿入したナビ用リカバリDVD-ROMの「地図データ」や「検索データ」を表示します。

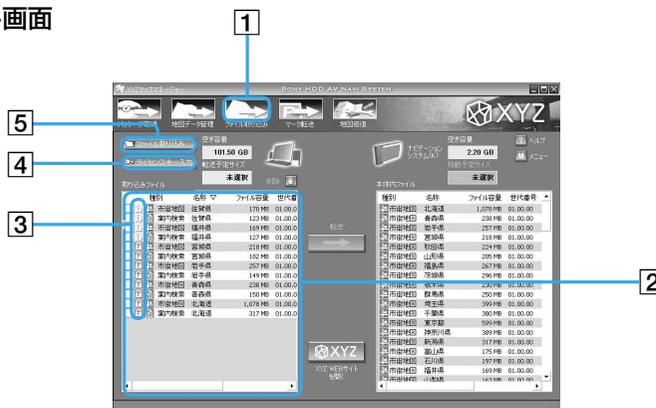


5 (ドライブ選択)
CD-ROMドライブやDVD-ROMドライブを一覧表示します。「地図データ」や「検索データ」をXYZ本体に転送するときは、ナビ用リカバリDVD-ROMを挿入したDVD-ROMドライブを選びます。

6 転送予定サイズ

XYZ本体に転送する「地図データ」や「検索データ」の合計サイズを表示します。

ファイル取り込み画面



1 ファイル取り込み画面を表示します。

2 取り込みファイルリスト

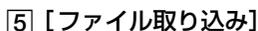
[ファイル取り込み]で登録した「地図データ」や「検索データ」を表示します。

3 ライセンスマーク

XYZ本体に転送できる「地図データ」や「検索データ」は  (緑色) で、転送できない「地図データ」や「検索データ」は  (赤色) で表示します。

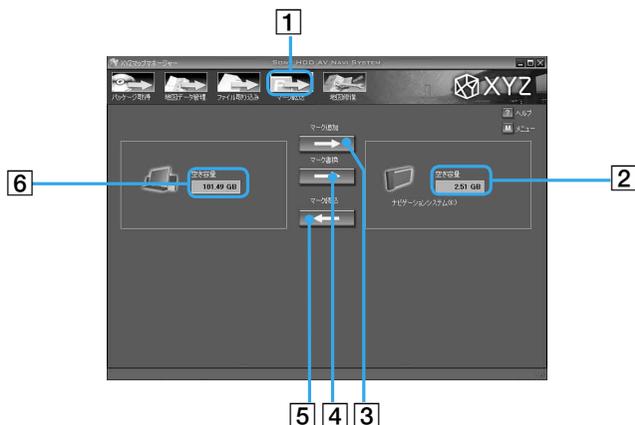


4 [ライセンスキー入力]
ライセンスキー入力画面を表示します。



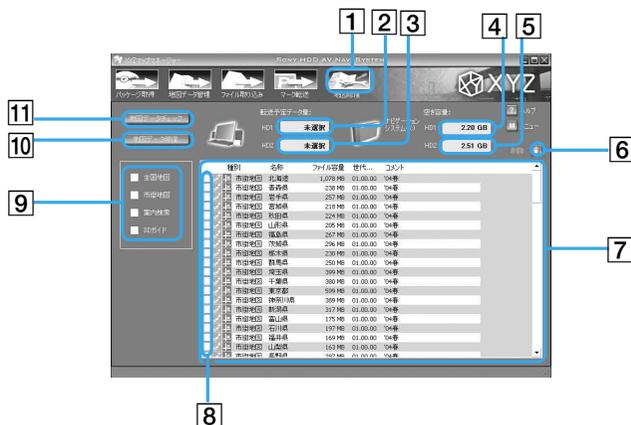
5 [ファイル取り込み]
ダウンロードした「地図データ」や「検索データ」を取り込みファイルリストに登録するときにクリックします。

マーク転送画面



- 1  マーク転送画面を表示します。
- 2 **XYZ本体の空き容量**
XYZ本体の空き容量が表示されます。
- 3  パソコンに保存されているマークをXYZ本体のマークとして追加します。
- 4  パソコンに保存されているマークでXYZ本体のマークを上書きします。それまでXYZ本体内部に存在したマークデータはすべて消去されます。
- 5  XYZ本体に登録されているマークをパソコンに保存します。
- 6 **パソコンの空き容量**
パソコンの空き容量が表示されます。

地図修復画面



- 1  地図修復画面を表示します。
- 2 **HD1転送予定データ量**
- 3 **HD2転送予定データ量**
- 4 **XYZ本体HD1の空き容量**
- 5 **XYZ本体HD2の空き容量**
- 6  チェックされた地図データを削除します。
- 7 **地図データ一覧**
XYZ本体の地図データが一覧表示されます。
 -  (白) チェックされていない地図データ
 -  (緑) 修復する必要がない地図データ
 -  (赤) 修復が必要な地図データ
- 8 **チェックボックス**
修復する地図データにチェックマークを付けます。
- 9 **地図データの種類の選択チェックボックス**
チェックする地図データの種類(全国地図、市街地図、案内地図、3Dガイド)を指定します。
- 10 **地図データ修復**
チェックボックスにチェックされた地図データを修復します。
- 11 **地図データチェック**
地図データの種類の選択チェックボックスにチェックされた種類の地図データをチェックします。

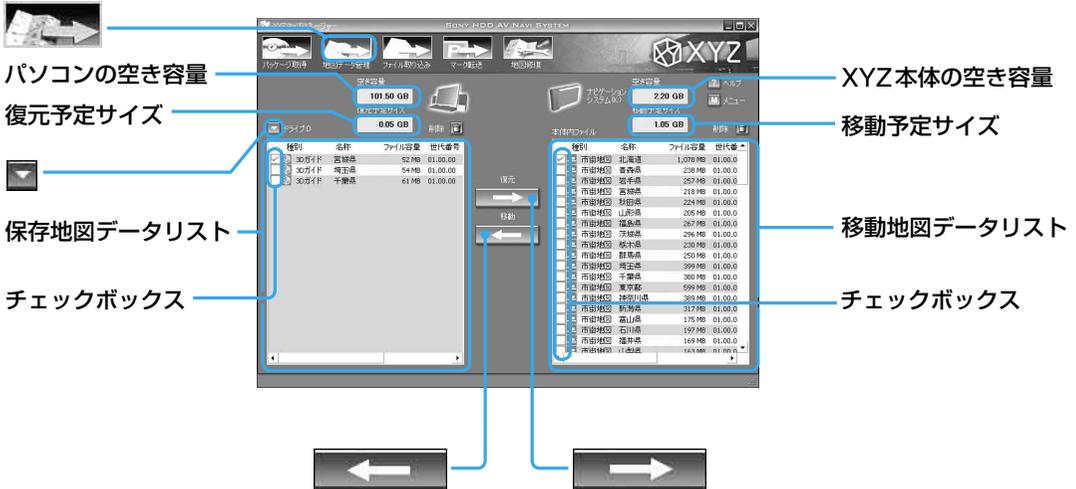
「地図データ」や「検索データ」を退避する/戻す

PC ↔ XYZ

本書の「退避する」とは、XYZ本体の「地図データ」や「検索データ」をパソコンに移動することを意味します。

ここでは、「地図データ」や「検索データ」をXYZ本体からパソコンに退避させる方法や、XYZ本体に戻す方法を説明しています。

地図データ管理画面



ナビゲーション—XYZマップマネージャーを使う

「地図データ」や「検索データ」をXYZ本体からパソコンに退避する

- 1  をクリックする。
地図データ管理画面が表示されます。
- 2 移動地図データリストから、パソコンに退避する「地図データ」や「検索データ」のチェックボックスをクリックし、 にする。
- 3 移動予定サイズがパソコンの空き容量より少ないことを確認する。

移動予定サイズがパソコンの空き容量よりも多いときは以下のどちらかの操作をしてください。

- 「地図データ」や「検索データ」のチェックボックスをクリックして (チェックなし) にし、パソコンに退避する「地図データ」や「検索データ」の数を減らす。
- パソコンのデータを削除して、パソコンの空き容量を増やす。データを削除する方法について詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 退避には、時間がかかることがあります。
- 退避中は、パソコンのサスペンド、スリープ(スタンバイ状態)、ハイバネーション(休止状態)機能は働きません。
- 退避中は、以下の操作をしないでください。データが壊れる可能性があります。
 - パソコンやXYZ本体の電源を切る/リセットする。
 - USBケーブルを抜く。
 - USBスイッチを動かす。
 - XYZ本体をホームステーションからはずす。
 - ホームステーションのACアダプターをはずす。

4 をクリックする。

「地図データ」や「検索データ」がパソコンに移動します。移動中は、状況を示すウィンドウが表示されます。移動が完了するとメッセージが表示されますので、[OK]をクリックしてください。

「地図データ」や「検索データ」の保存場所を変更するには

- 1  をクリックする。
データ管理フォルダの変更ウィンドウが表示されます。
- 2 [参照] をクリックし、保存場所を選ぶ。



ご注意

- データ管理フォルダの変更には、時間がかかることがあります。
- データ管理フォルダの変更中は以下の操作をしないでください。データが壊れる可能性があります。
 - パソコンやXYZ本体の電源を切る/リセットする。
 - XYZ本体をホームステーションからはずす。
 - ホームステーションのACアダプターをはずす。

「地図データ」や「検索データ」をパソコンからXYZ本体に戻す

1 をクリックする。

地図データ管理画面が表示されます。

2 保存地図データリストから、XYZ本体に戻す「地図データ」や「検索データ」のチェックボックスをクリックし、 にする。

3 復元予定サイズがXYZ本体の空き容量より少ないことを確認する。

復元予定サイズがXYZ本体の空き容量よりも多いときは以下のどちらかの操作をしてください。

- 「地図データ」や「検索データ」のチェックボックスをクリックして (チェックなし) にし、XYZ本体に戻す「地図データ」や「検索データ」の数を減らす。
- XYZ本体のデータを削除して、XYZ本体の空き容量を増やします。データを削除する方法について詳しくは、以下のページをご覧ください。
 - 曲 (53ページ)
 - ビデオ (64ページ)
 - 写真 (73ページ)
 - ファイルやフォルダ (89ページ)

4 をクリックする。

「地図データ」や「検索データ」がXYZ本体に戻ります。

ご注意

- リカバリには、時間がかかることがあります。
- リカバリ中はパソコンのサスペンド、スリープ(スタンバイ状態)、ハイバネーション(休止状態)機能は働きません。
- リカバリ中は、以下の操作をしないでください。データが壊れる可能性があります。
 - パソコンやXYZ本体の電源を切る/リセットする。
 - USBスイッチを動かす。
 - USBケーブルを抜く。
 - XYZ本体をホームステーションからはずす。
 - ホームステーションのACアダプターをはずす。

「地図データ」や「検索データ」を削除する/ リカバリする

PC → XYZ

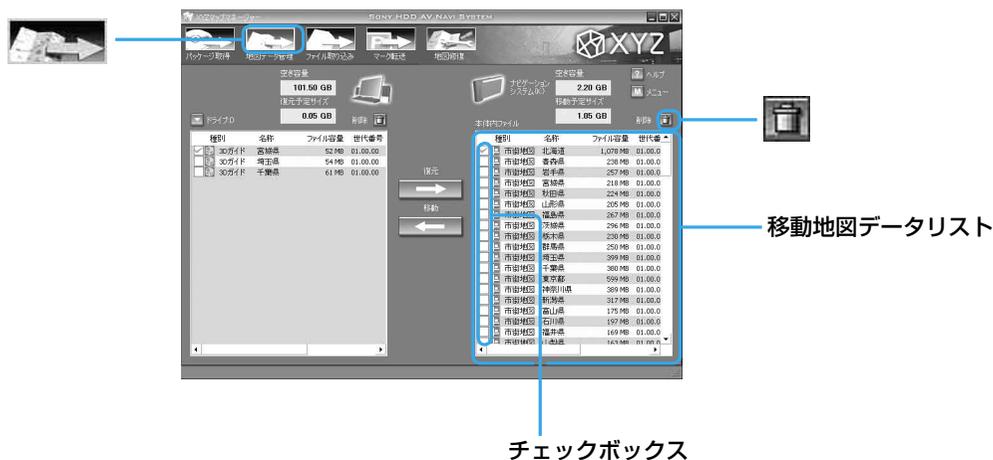
本書の「リカバリする」とは、お買い上げ時にXYZ本体のハードディスクに格納されているものと同じ「地図データ」や「検索データ」を、ナビ用リカバリDVD-ROM*からXYZ本体に転送することを意味します。

ここでは、「地図データ」や「検索データ」を削除する方法や、削除した「地図データ」や「検索データ」をリカバリする方法を説明しています。

* ナビ用リカバリDVD-ROMを使うには、DVD-ROMの読み込みが可能なDVDドライブが必要です。

XYZ本体の「地図データ」や「検索データ」を削除する

地図データ管理画面



-  をクリックする。
地図データ管理画面が表示されます。
- 移動地図データリストから、削除する「地図データ」や「検索データ」のチェックボックスをクリックし、 にする。
-  をクリックする。
削除してよいかを確認するダイアログが表示されます。
- [はい]をクリックする。
「地図データ」や「検索データ」の削除が始まります。
削除中は、状況を示すウィンドウが表示されます。削除が完了するとメッセージが表示されますので、[OK]をクリックしてください。

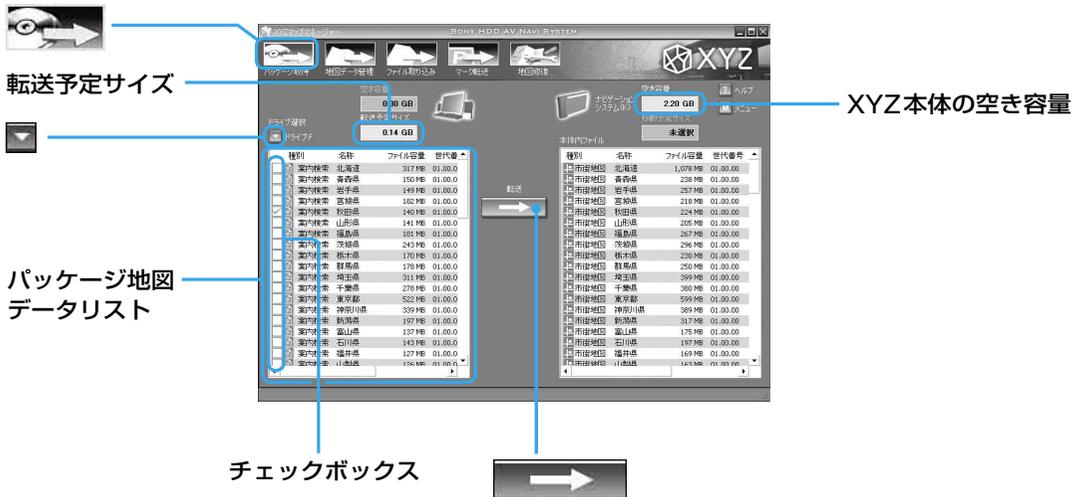
ご注意

- 削除中は、以下の操作をしないでください。データが壊れる可能性があります。
 - パソコンやXYZ本体の電源を切る/リセットする。
 - USBスイッチを動かす。
 - USBケーブルを抜く。
 - XYZ本体をホームステーションからはずす。
 - ホームステーションのACアダプターをはずす。
- 削除には、時間がかかることがあります。

「地図データ」や「検索データ」をナビ用リカバリDVD-ROMからXYZ本体にリカバリする

パッケージ地図データリストから「地図データ」や「検索データ」を選んで、XYZ本体に転送できます。

パッケージ取得画面



1 をクリックする。

パッケージ取得画面が表示されます。

2 ナビ用リカバリDVD-ROMをパソコンのDVDドライブに入れる。

3 をクリックし、手順2でDVD-ROMを入れたドライブをクリックする。

ライセンスキー入力ダイアログが表示されます。

4 何も入力しないで [OK] をクリックする。

ダイアログのメッセージをよく読んで、指示に従って操作してください。

5 パッケージ地図データリストから、XYZ本体に転送する「地図データ」や「検索データ」のチェックボックスをクリックし、 にする。

ご注意

- リカバリ中は、以下の操作をしないでください。データが壊れる可能性があります。
 - パソコンやXYZ本体の電源を切る/リセットする。
 - USBスイッチを動かす。
 - USBケーブルを抜く。
 - XYZ本体をホームステーションからはずす。
 - ホームステーションのACアダプターをはずす。
- リカバリには、時間がかかることがあります。特に全国地図データを転送する場合は、パソコンの画面に表示されるメッセージをよく読んで、指示に従って操作してください。

ちょっと一言

- ライセンスキー入力ダイアログに何か入力すると、「地図データ」や「検索データ」を表示できません。
- ライセンスキー入力は、別売りのバージョンアップ地図ディスクを使う際に必要です。

6 転送予定サイズがXYZ本体の空き容量より少ないことを確認する。

転送予定サイズがXYZ本体の空き容量よりも多いときは以下のどちらかの操作をしてください。

- 「地図データ」や「検索データ」のチェックボックスをクリックして (チェックなし) にし、XYZ本体に転送する「地図データ」や「検索データ」の数を減らす。
- XYZ本体のデータを削除して、XYZ本体の空き容量を増やす。データを削除する方法については、以下のページをご覧ください。
 - 曲 (53ページ)
 - ビデオ (64ページ)
 - 写真 (73ページ)
 - ファイルやフォルダ (89ページ)

7 をクリックする。

リカバリが始まります。

リカバリ中は、状況を示すウィンドウが表示されます。リカバリが完了するとメッセージが表示されますので、[OK]をクリックしてください。

5 フォルダの参照画面から、手順2で保存したフォルダをクリックし、[OK] をクリックする。



確認のダイログが表示されます。

6 [はい] をクリックする。 取り込みファイルリストに「地図データ」や「検索データ」が登録されます。

7 XYZ本体に転送する「地図データ」や「検索データ」のライセンスキーマークを確認する。

 (緑色) の「地図データ」や「検索データ」は、XYZ本体に転送できます。

 (赤色) になっているときは

- 1 [ライセンスキー入力] をクリックして、ライセンスキー入力ウィンドウを表示します。
- 2 ライセンスキーを入力し、[OK] をクリックします。



8 取り込みファイルリストから、XYZ本体に転送する「地図データ」や「検索データ」のチェックボックスをクリックし、 にする。

9 転送予定サイズがXYZ本体の空き容量より少ないことを確認する。

転送予定サイズがXYZ本体の空き容量よりも多いときは以下のどちらかの操作をしてください。

- 「地図データ」や「検索データ」のチェックボックスをクリックして (チェックなし) にし、XYZ本体に転送する「地図データ」や「検索データ」の数を減らす。
- XYZ本体の「地図データ」や「検索データ」をパソコンに退避して (31 ページ)、XYZ本体の空き容量を増やす。

10 をクリックする。

「地図データ」や「検索データ」の転送が始まります。転送中は、転送状況を示すウィンドウが表示され、ウィンドウが消えると転送は完了します。

ご注意

ライセンスキーは、以下の点に注意して入力してください。

- 数字は半角で、英字は半角の大文字で入力する (ライセンスキーに小文字は使われません)。
- 0 (ゼロ) と O (オウ)、1 (イチ) と I (アイ)、2 (ニ) と Z (ズイー)、U (ユウ) と V (ヴィー) を間違えないよう区別する。

ちょっと一言

取り込みファイルリストの「地図データ」や「検索データ」を右クリックすると、全指定 (すべてのチェックボックスが) や全解除 (すべてのチェックボックスが (チェックなし)) ができます。

ご注意

転送できる「地図データ」や「検索データ」は、 (緑色) のみです。チェックボックスが になっているなかに、 (赤色) があると、転送はできません。

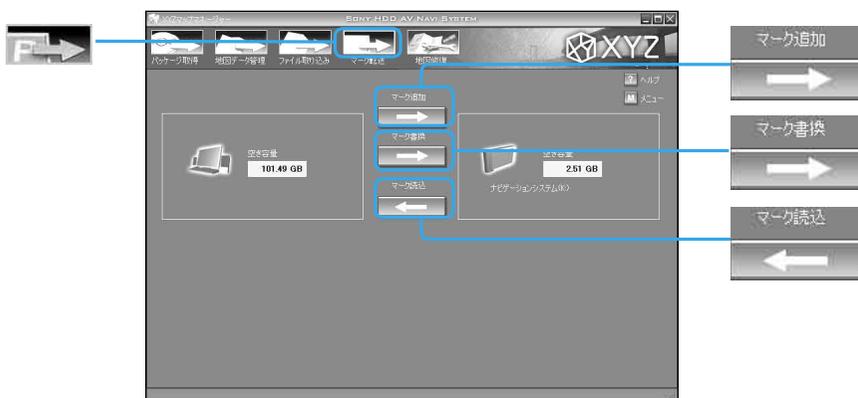
マークを転送する



XYZ本体内のマークをパソコンに保存したり、パソコン上にあるマークをXYZ本体に保存したり、XYZ本体のマークを書き換えたりできます。

XYZ本体のマークをパソコンに保存する

マーク転送画面



- 1**  をクリックする。
マーク転送画面が表示されます。
- 2**  をクリックする。
保存フォルダを指定するダイアログが表示されます。
- 3** 保存場所を指定して[保存]をクリックする。
パソコンへマークが保存されます。
保存が終わると、完了メッセージが表示されますので、[OK]をクリックします。

ちょっと一言

位置情報ファイル形式のファイルを“メモリースティック”に保存する際は、下記のフォルダに保存することにより、“メモリースティック”位置情報交換フォーマットに対応した機器でもお使いいただけます。

保存フォルダ：

E:¥POSITION¥POI¥

(E:は“メモリースティック”が接続されているドライブ名で、お使いのパソコンにより異なります。)

ご注意

- 対応する機器での使い方については各々に付属の取扱説明書をご覧ください。
- マーク情報をやり取りする機器によっては、すべての情報が転送できない場合があります。
- ファイルの拡張子(.xml)が同じでも位置情報ファイルと異なる形式のファイルは転送できません。

パソコンのマークをXYZ本体に追加する

- 1**  をクリックする。
マーク転送画面が表示されます。
- 2**  をクリックする。
マークファイルを指定するダイアログが表示されます。
- 3** 追加したいマークファイルを指定して[開く]をクリックする。
マーク情報のXYZ本体への追加が始まります。
保存が終了すると、完了メッセージが表示されるので、[OK]をクリックします、

パソコンのマークでXYZ本体のマークを書き換える

- 1**  をクリックする。
マーク転送画面が表示されます。
- 2**  をクリックする。
マークファイルを指定するダイアログが表示されます。
- 3** 書き換えたいマークファイルを指定して「開く」をクリックする。
パソコンのマークでXYZ本体のマークを書き換えてよいかを確認するダイアログが表示されます。
- 4** [はい]をクリックする。
マークの書き換えが始まります。
書き換えが終了すると、完了メッセージが表示されるので、[OK]をクリックします。

ご注意

XYZ本体へ転送可能なファイルは「位置情報ファイル」形式のファイルのみです。ファイルの拡張子(.xml)が同じでも位置情報ファイルと異なる形式のファイルは転送できません。

「地図データ」を修復する

XYZ本体の地図データをチェックし、必要な場合は修復することができます。

地図修復画面



1  をクリックする。
地図修復画面が表示されます。

2 チェック対象ボタンをクリックする。
チェックする項目のボタンをクリックします。チェック項目には、次の4種類があります。

- 全国地図
- 市街地図
- 案内検索
- 3Dガイド

3  をクリックする。
地図データのチェックが始まります。
チェック結果は、チェック結果リストに次のアイコンで表示されます。

-  (白) チェックされていない地図データ
-  (緑) 修復する必要がない地図データ
-  (赤) 修復が必要な地図データ

4 修復したい地図ファイルにチェックマークをつけ、 をクリックする。
地図データファイルを指定するダイアログが表示されます。

ご注意

- 地図データのチェックには、時間がかかることがあります。
- 修復中は、以下の操作をしないでください。データが壊れる可能性があります。
 - パソコンやXYZ本体の電源を切る/リセットする。
 - USBスイッチを動かす。
 - USBケーブルを抜く。
 - XYZ本体をホームステーションからはずす。
 - ホームステーションのACアダプターをはずす。
- 修復するデータの種類や数、お使いのパソコンにより、修復には数時間から十数時間程度かかることがあります。

5 ファイルの場所を指定して [OK] をクリックする。
修復が始まります。
修復が終わると完了メッセージが表示されるので、[OK] をクリックします。

6 削除したい地図データがある場合は、地図データファイルにチェックマークをつけ、 をクリックする。
削除してよいかを確認するダイアログが表示されます。

7 [はい] をクリックする。
削除が始まります。削除中は、状況を示すウィンドウが表示されます。
削除が終わると完了メッセージが表示されるので、[OK] をクリックします。

ご注意

- 削除中は、以下の操作をしないでください。データが壊れる可能性があります。
 - パソコンやXYZ本体の電源を切る/リセットする。
 - USBスイッチを動かす。
 - USBケーブルを抜く。
 - XYZ本体をホームステーションからはずす。
 - ホームステーションのACアダプターをはずす。
- 削除には、時間がかかることがあります。

XYZマップマネージャーのヘルプを見る

PC

XYZマップマネージャーの使いかたは、XYZマップマネージャーのヘルプでも見るすることができます。

ヘルプ画面

左フレーム

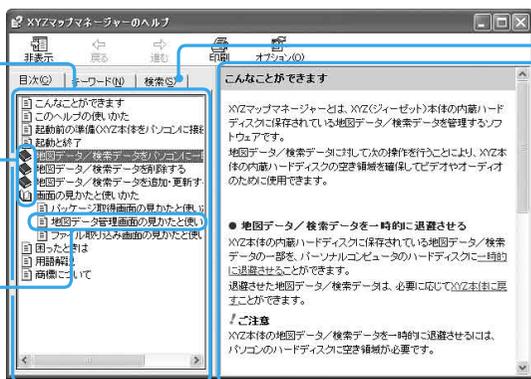
説明の目次を表示します。



目的別に目次をまとめてあります。

タイトル

右フレームに表示される説明のタイトルです。



【検索】

用語を入力して検索します。

右フレーム

説明を表示します。

をクリックする。



XYZマップマネージャーのヘルプが表示されます。

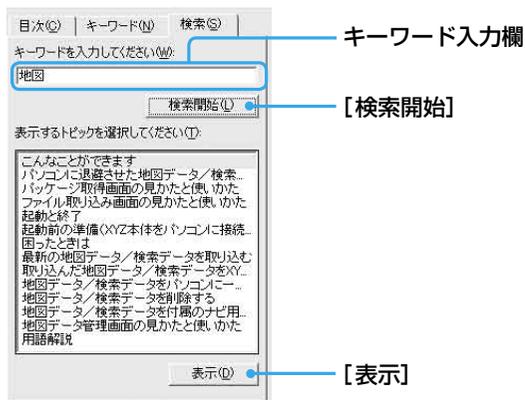
説明を見るには

- 1 左フレームの をダブルクリックする。
- 2 タイトルをクリックする。

右フレームに説明が表示されます。必要に応じてスクロールしてください。

下線付きの用語をクリックすると、その用語の説明にジャンプします。

用語を入力して調べるには



- 1 [検索] をクリックする。
- 2 キーワード入力欄に、調べたい用語を入力し、[検索開始] をクリックする。
入力した用語を含む項目が一覧表示されます。
- 3 読みたい項目をクリックし、[表示] をクリックする。
右フレームに説明が表示されます。



音楽

— SonicStage を使う

SonicStage でできること	
— 音楽を楽しむ	46
SonicStage を起動する / 終了する	47
パソコンに音楽ファイルを取り込む	50
音楽ファイルを転送 / 管理する	52
SonicStage のヘルプを見る	54

SonicStageでできること

— 音楽を楽しむ

SonicStageは、音楽を楽しむための統合ソフトウェアです。

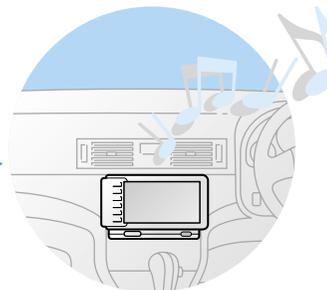
好きな曲（音楽ファイル）を取り込む

音楽CDやインターネットからSonicStageのマイライブラリに曲を取り込めます。



車で楽しむ

好きな曲をXYZ本体へ転送して楽しめます。



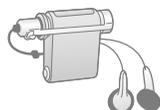
XYZ本体以外で楽しむときは

SonicStageでパソコンに取り込んだ曲は、以下のような楽しみかたもできます。

パソコンのスピーカーで聞く



対応プレーヤー*に持ち出す



CD-R*やMD*に保存する



*対応プレーヤーおよびCD-R、MDは別売りです。

ご注意

SonicStageでパソコンやXYZ本体に取り込んだ曲は個人で楽しむ目的のほかは、ご利用になれません。

ちょっと一言

- SonicStageについての詳しい操作説明は、ヘルプで見ることができます（54ページ）。
- SonicStageでは、以下のファイル形式の曲を操作できます。
ATRAC3、ATRAC3plus、WMA、WAV、MP3

SonicStage を起動する / 終了する

PC

SonicStageはXYZデスクトップ画面から起動します。

- 1 デスクトップの  (XYZデスクトップ) をダブルクリックし、XYZデスクトップを起動する。

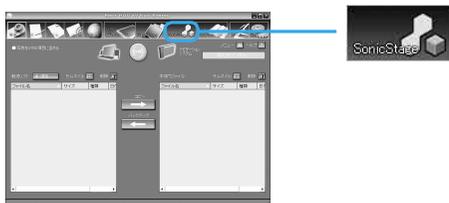


XYZデスクトップ画面が表示されます。

デスクトップに  (XYZデスクトップ) がないときは [スタート] メニュー → [すべてのプログラム] * → [Sony XYZ] → [XYZデスクトップ] → [XYZデスクトップ] の順にクリックします。

* Windows 2000/Me では [プログラム]

- 2 XYZデスクトップ画面の  をクリックする。



SonicStageが起動します。

SonicStageを終了するには

 をクリックします。



ちょっと一言

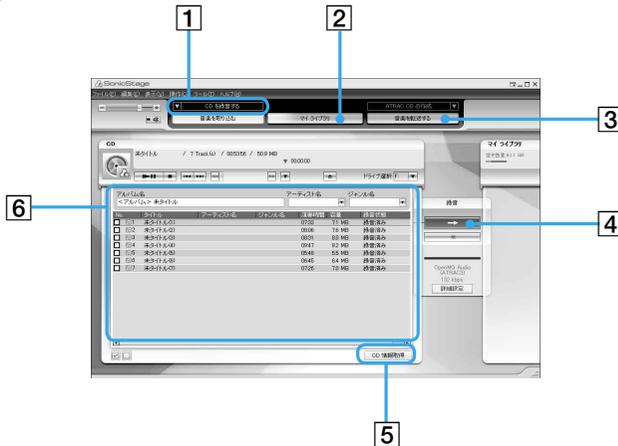
- [スタート] メニュー → [すべてのプログラム] * → [SonicStage] → [SonicStage] の順にクリックしても、SonicStageを起動できます。
* Windows 2000/Me では、 [プログラム]
- デスクトップに  (SonicStage) があるときは、  (SonicStage) をダブルクリックしても、SonicStageを起動できます。
- SonicStageについての詳しい操作説明は、ヘルプで見ることができます (54ページ)。

次のページにつづく ➡

SonicStage 画面各部のはたらき

以下の画面で曲（音楽ファイル）を取り込んだり、管理したり、転送したりできます。

曲取り込み画面



1 取り込み元選択リスト

マイライブラリに登録する曲の保存場所を選びます。

2 [マイライブラリ]

マイライブラリ画面を表示します。

3 [音楽を転送する]

曲転送画面を表示します。

4 [→]

曲をマイライブラリに登録します。

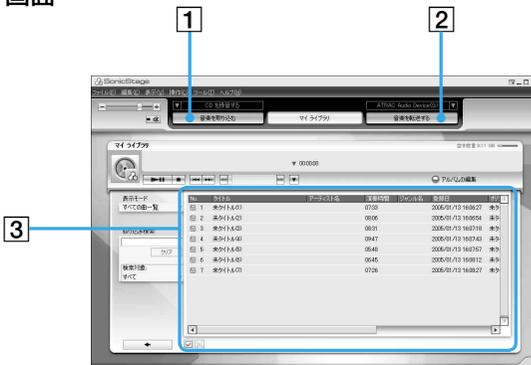
5 [CD情報取得]

インターネットに接続しているとき、CD情報を取得します。

6 取り込み元の曲リスト

音楽CDやインターネットの購入サイトの曲を表示します。

マイライブラリ画面



1 [音楽を取り込む]

曲取り込み画面を表示します。

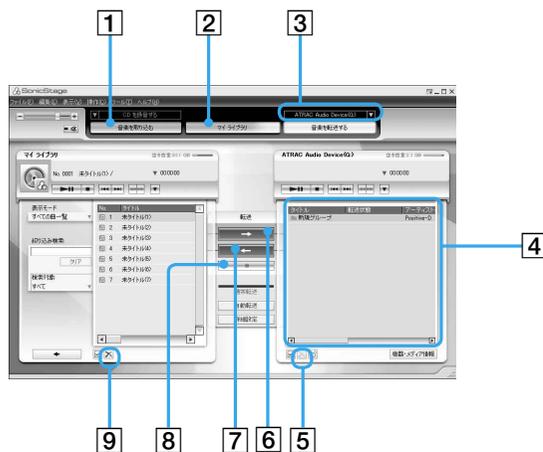
2 [音楽を転送する]

曲転送画面を表示します。

3 マイライブラリ

パソコンに取り込んだ曲を表示します。

曲転送画面

**1** [音楽を取り込む]

曲取り込み画面を表示します。

2 [マイライブラリ]

マイライブラリ画面を表示します。

3 転送先リスト

XYZ本体や他の機器、メディアなどから、曲の転送先を選びます。

4 転送先の曲リスト

XYZ本体や他の機器、メディアなどの曲を表示します。

5 

XYZ本体や他の機器、メディアなどの曲を削除します。

6 

マイライブラリの曲をXYZ本体や他の機器、CD-Rなどに転送します。

7 

XYZや他の機器の曲をパソコンに戻します。

8 

曲の転送を中止します。

9 

マイライブラリの曲を削除します。

パソコンに音楽ファイルを取り込む

PC

ここでは、SonicStageで曲（音楽ファイル）を音楽CDからパソコンに取り込んだり、インターネットの音楽配信サイトからダウンロードしたりする方法を説明しています。

曲取り込み画面



曲を音楽CDからパソコンに取り込む

1 音楽CDをパソコンのCD-ROMドライブに入れる。

取り込み元選択リストに「CDを録音する」が表示されます。

2 [音楽を取り込む] をクリックする。

取り込み元の曲リストに、アルバム名や曲名などのCD情報が表示されます。

アルバム名や曲名が表示されないときは

音楽CDによっては、CD情報が表示されないことがあります。インターネットに接続した状態で、[CD情報取得] をクリックすると、CD情報を取得できます。詳しくは、SonicStageのヘルプをご覧ください（54ページ）。

取り込みたくない曲があるときは

取り込み元の曲リストから、パソコンに取り込まない曲のチェックボックスをクリックして、（チェックなし）にします。

3 をクリックする。

パソコンへの取り込みが始まります。

取り込み中は、取り込み状況が数値で表示され、100%になると取り込みは完了します。

ちょっと一言

- 音楽ファイルのフォーマットやビットレートを変更して取り込むこともできます。詳しくは、SonicStageのヘルプをご覧ください（54ページ）。
- [Ctrl] キーを押しながらクリックすると、複数の曲を一度に選べます。

取り込みを途中でやめるには

 をクリックします。

曲をインターネットからパソコンにダウンロードする

インターネットの音楽配信サイトで曲を購入し、パソコンに取り込みます。音楽CDを購入しなくても、自宅で欲しい曲を入手できます。

- 1 取り込み元選択リストから、[ネットミュージックストア] をクリックする。



SonicStage 画面に [モーラ] のホームページが表示されます。

- 2 [モーラ] のホームページから、利用したいサービスを選ぶ。

[モーラ] のホームページには、曲の紹介やサービスの利用方法などが掲載されています。詳しくは、SonicStage 画面の [モーラ] のホームページをご覧ください。

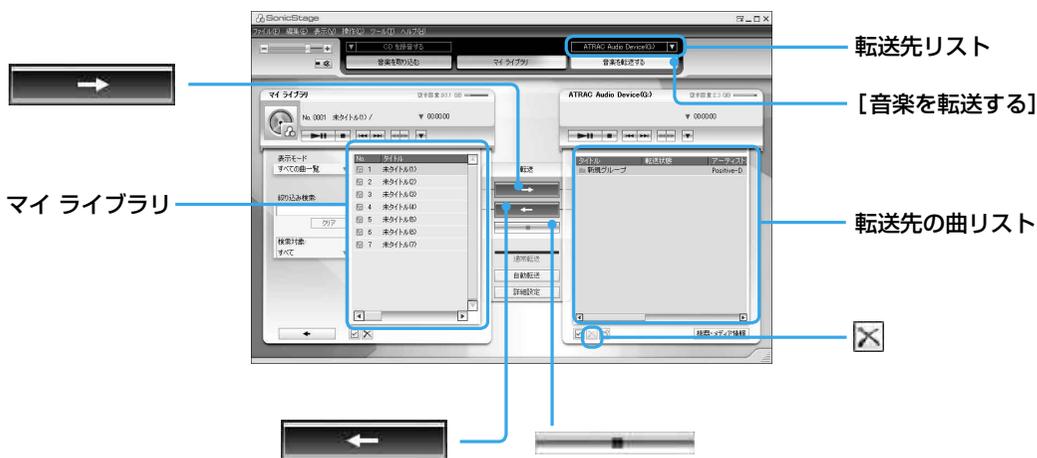
音楽ファイルを転送/管理する



ここでは、SonicStageのマイ ライブラリに登録してある曲（音楽ファイル）をXYZ本体に転送する方法や、曲を管理する方法を説明しています。

なお、MP3形式の曲はXYZデスクトップのファイル転送画面でXYZ本体に転送して（89ページ）、XYZ本体で聞くこともできます。

曲転送画面



曲をパソコンからXYZ本体に転送する

- 1** 転送先リストで [ATRAC Audio Device] をクリックして選んでから、[音楽を転送する] をクリックする。
曲をXYZ本体に転送する画面に切り替わります。
- 2** マイ ライブラリから、XYZ本体に転送する曲やアルバムをクリックする。
- 3**  をクリックする。
曲の転送が始まります。
転送中は、転送状況が数値で表示され、100%になると転送が完了します。

転送を途中でやめるには

 をクリックします。

ご注意

- 再生制限付きの曲は転送できないことがあります。
- インターネットからダウンロードした曲は、転送できる回数が制限されている場合があります。
- SonicStageでパソコンやXYZ本体に取り込んだ曲は個人で楽しむ目的のほかは、ご利用になれません。
- 転送中は、パソコンのサスペンド、スリープ（スタンバイ状態）、ハイバネーション（休止状態）機能は働きません。
- 曲の数や大きさによっては、転送に時間がかかることがあります。
- SonicStageで複数のジャケット画像を登録しても、XYZ本体では1つしか表示できないため、SonicStageで表示されるジャケット画像とXYZ本体で表示されるジャケット画像が異なる場合があります。

XYZ本体の曲をパソコンで並べ替える

XYZ本体に転送済みの曲の順番を、パソコンで並べ替えることができます。

転送先の曲リストから、曲をクリックし、並べ替えたい曲順の位置にドラッグ アンド ドロップする。

XYZ本体の曲をパソコンで削除する

XYZ本体に転送済みの曲を、パソコンで削除できます。

1 転送先の曲リストから、削除する曲をクリックし、 をクリックする。

削除してよいかを確認するダイアログが表示されます。

2 [はい] をクリックする。

曲をXYZ本体からパソコンに戻す

SonicStageでは、音楽CDから取り込んだ曲の転送回数に制限はありませんが、インターネットからダウンロードした曲の転送回数は制限されている場合があります。XYZ本体に転送した曲は、他の機器やCD-Rなどに転送できる回数が1回減りますが、XYZ本体からパソコンに曲を戻すと、転送できる回数は元に戻ります。

なお、転送できる回数は曲によって異なります。

1 転送先の曲リストから、パソコンに戻す曲をクリックする。

2  をクリックする。

曲がパソコンに戻ります。

戻すのを途中でやめるには

 をクリックします。

ご注意

転送中は、以下の操作をしないでください。データが壊れる可能性があります。

- パソコンやXYZ本体の電源を切る/リセットする。
- USBスイッチを動かす。
- USBケーブルを抜く。
- XYZ本体をホームステーションからはずす。
- ホームステーションのACアダプターをはずす。

ちょっと一言

- [Ctrl] キーを押しながらクリックすると、複数の曲を一度に選べます。また、[アルバム] をクリックすると、アルバム内の曲をまとめて選べます。詳しくは、SonicStageのヘルプをご覧ください (54ページ)。
- XYZデスクトップでは、MP3形式の曲を変換せずにそのままXYZ本体に転送して聞けます。詳しくは、本書の89ページ、またはXYZデスクトップのヘルプ (65ページ) をご覧ください。
- MP3形式やWAV形式の曲をSonicStageで転送するときには、ATRAC3形式またはATRAC3plus形式に変換されて転送されます。MP3形式のまま、XYZ本体へ転送したいときは、XYZデスクトップのファイル転送画面で転送してください。

SonicStageのヘルプを見る

PC

ヘルプには、音楽CDの作りかたなど、本書に記載されていないSonicStageの使いかたや、より詳しい説明が記載されています。「音楽を取り込む」、「音楽を転送する」といった操作の目的で探したり、思いついた用語で検索したりできます。

ヘルプ画面

左フレーム

説明の目次を表示します。

タイトル

右フレームに表示される説明のタイトルです。



目的別に目次をまとめてあります。



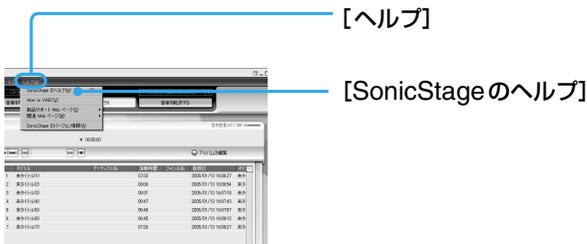
[検索]

用語を入力して検索します。

右フレーム

説明を表示します。

[ヘルプ] → [SonicStageのヘルプ] の順にクリックする。



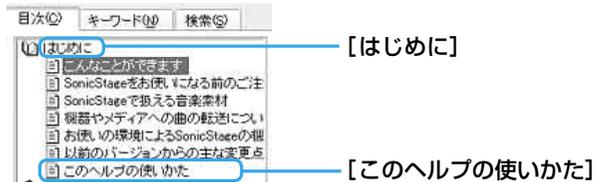
SonicStageのヘルプが表示されます。

ちょっと一言

[スタート]メニュー → [すべてのプログラム]* → [SonicStage] → [SonicStage ヘルプ] の順にクリックしても、ヘルプを表示できます。

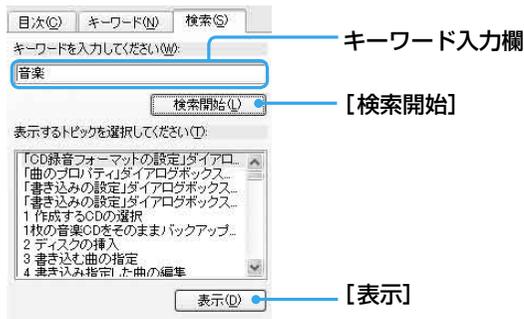
* Windows 2000/Meでは、[プログラム]

ヘルプの使いかたを見るには



- 1 左フレームの [はじめに] をダブルクリックする。
- 2 [このヘルプの使いかた] をクリックする。
右フレームに説明が表示されます。必要に応じてスクロールしてください。
下線付きの用語をクリックすると、その用語の説明にジャンプします。

用語を入力して調べるには



- 1 [検索] をクリックする。
- 2 キーワード入力欄に調べたい用語を入力し、[検索開始] をクリックする。
入力した用語を含む項目が一覧表示されます。
- 3 読みたい項目をクリックし、[表示] をクリックする。
右フレームに説明が表示されます。



ビデオ

—XYZビデオマネージャーを使う

XYZビデオマネージャーでできること

—ビデオを転送/管理する	58
XYZビデオマネージャーを起動する/終了する	59
ビデオを転送/管理する	61
XYZビデオマネージャーのヘルプを見る	65

XYZビデオマネージャーでできること

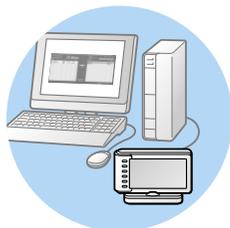
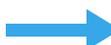
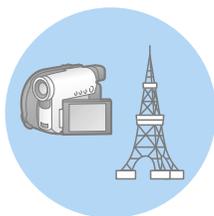
— ビデオを転送/管理する

本書では、ビデオ（動画）を意味する単語について、記録方法に応じて、以下の4種類に書き分けています。

- Giga Pocketで録画したテレビ番組：「ビデオカプセル」
- Do VAIOで録画したテレビ番組：「録画ビデオ」
- 上記以外の方法で記録した動画：「ビデオファイル」
- ビデオカプセル、録画ビデオ、ビデオファイルの3種類を区別しない、動画の総称：「ビデオ」

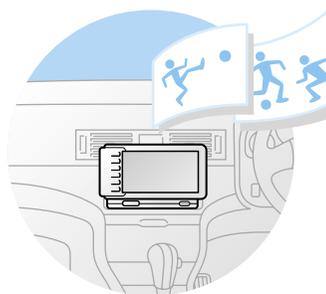
ビデオを準備する

あらかじめビデオをパソコンに準備しておきます。
詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。



車で楽しむ

ビデオをXYZ本体に転送して、車で楽しめます。



ご注意

- XYZビデオマネージャーはVer.4.0以降のGiga Pocketに対応しています。
- ビデオはパソコンに戻せません。
- XYZビデオマネージャーでXYZ本体に転送したビデオは個人で楽しむ目的のほかは、ご利用になれません。
- 市販のDVDビデオは著作権を守るため暗号化されており、XYZ本体に転送できません。

ちょっと一言

XYZビデオマネージャーについての詳しい操作説明は、ヘルプで見ることができます（65ページ）。

XYZビデオマネージャーを起動する/終了する

PC

XYZビデオマネージャーはXYZデスクトップ画面から起動します。

1 デスクトップの (XYZデスクトップ) をダブルクリックし、XYZデスクトップを起動する。

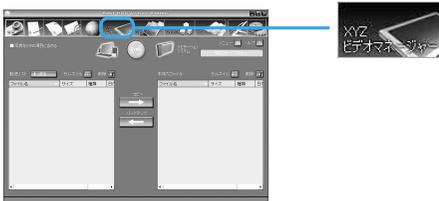


XYZデスクトップ画面が表示されます。

デスクトップに  (XYZデスクトップ) がないときは
[スタート] メニュー → [すべてのプログラム] * →
[Sony XYZ] → [XYZデスクトップ] → [XYZデスクトップ]
の順にクリックする。

* Windows 2000/Me では [プログラム]

2 XYZデスクトップ画面の をクリックし、XYZビデオマネージャーを起動する。



XYZビデオマネージャー画面が表示されます。

XYZビデオマネージャーの画面を終了するには

XYZビデオマネージャー画面の  をクリックします。



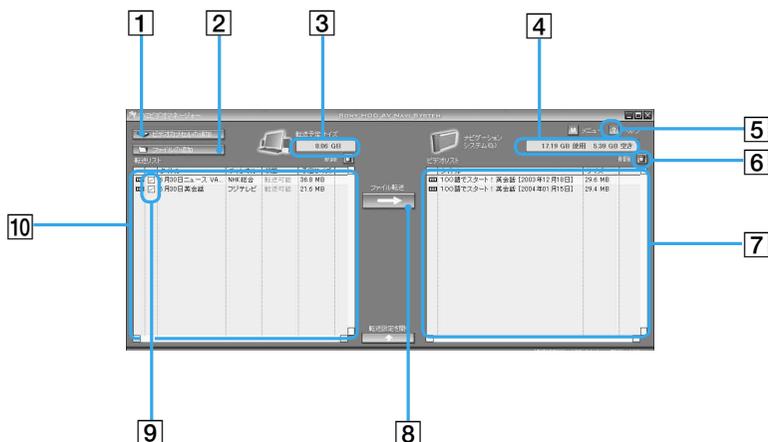
ちょっと一言

- デスクトップに  (XYZビデオマネージャー) があるときは、 (XYZビデオマネージャー) をダブルクリックしても、XYZビデオマネージャーを起動できません。
- XYZビデオマネージャーについての詳しい操作説明は、ヘルプで見ることができます (65ページ)。
- XYZビデオマネージャーはWindowsへのログオン時に、自動的にプログラムが起動し、タスクトレイの通知領域に  (XYZビデオマネージャー) が表示されます。この  (XYZビデオマネージャー) をダブルクリックしても、XYZビデオマネージャー画面を表示できません。XYZビデオマネージャーは一度起動すると、ビデオマネージャー画面を終了させてもタスクトレイに常駐し続けます。ビデオマネージャーを終了させるには、 (XYZビデオマネージャー) を右クリックし、[終了]をクリックするか、Windowsをシャットダウンしてください。

次のページにつづく ➡

XYZビデオマネージャー画面各部のはたらき

XYZビデオマネージャーを起動すると、以下の画面が表示されます。



1 【ビデオカプセルの追加】

Giga Pocketで録画したビデオカプセルを転送リストに追加するときに、クリックします。
Giga Pocketが付いていないパソコンでは、表示されません。

2 【ファイルの追加】（Giga Pocketが付いていないパソコンでは【ビデオの追加】）

パソコンに保存されているビデオファイルや、Do VAIOで録画した録画ビデオを転送リストに追加します。

3 転送予定サイズ

XYZ本体に転送するビデオの合計サイズを表示します。

4 XYZ本体の空き容量

XYZ本体のハードディスクの空き容量を表示します。

5

XYZビデオマネージャーのヘルプを表示します。

6

XYZ本体に転送済みのビデオのうち、ビデオリスト内で選択されているビデオを削除します。

7 ビデオリスト

XYZ本体に転送済みのビデオを表示します。

8

転送リストのビデオを、XYZ本体に転送します。

9

XYZ本体に転送するビデオを選びます。

10 転送リスト

XYZ本体に転送するビデオを表示します。

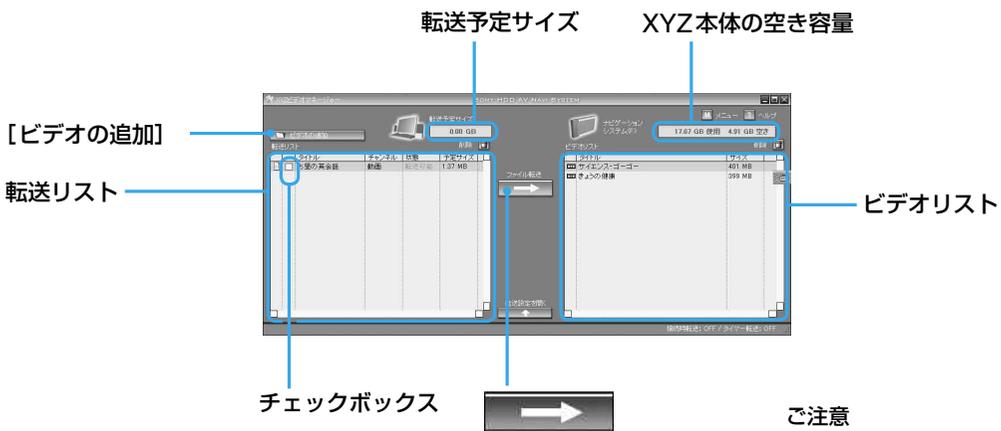
ビデオを転送/管理する

PC → XYZ

ここでは、パソコンに保存してあるビデオを、XYZ本体に転送する方法や管理する方法を説明しています。転送の手順はパソコンによって異なります。

Do VAIOもGiga Pocketも付いていないパソコンからビデオをXYZ本体に転送する

Do VAIOもGiga Pocketも付いていないパソコンからは、ビデオファイルをXYZ本体に転送できます。



1 [ビデオの追加] をクリックする。

ビデオの追加画面が表示されます。

2 XYZ本体に転送するビデオファイルをクリックし、転送リストにドラッグ アンド ドロップする。



転送リストにビデオファイルが登録されます。

ご注意

- 転送中は、パソコンのサスペンド、スリープ（スタンバイ状態）、ハイバネーション（休止状態）機能は動きません。
- ビデオの大きさや種類によっては、転送に時間がかかることがあります。特に、AVI (DV) やWMV形式のビデオファイルはMPEG形式に変換されてから転送されるため、時間がかります。
- 転送中は、以下の操作をしないでください。データが壊れる可能性があります。
 - パソコンやXYZ本体の電源を切る/リセットする。
 - USBスイッチを動かす。
 - USBケーブルを抜く。
 - XYZ本体をホームステーションからはずす。
 - ホームステーションのACアダプターをはずす。

次のページにつづく ➡

3 転送予定サイズがXYZ本体の空き容量より少ないことを確認する。

転送予定サイズがXYZ本体の空き容量よりも多いときは以下のどちらかの操作をしてください。

- ビデオファイルのチェックボックスをクリックして (チェックなし) にし、XYZ本体に転送するビデオファイルの数を減らす。
- XYZ本体のビデオファイルを削除して (64ページ)、XYZ本体の空き容量を増やす。

4 をクリックする。

ビデオファイルの転送が始まります。

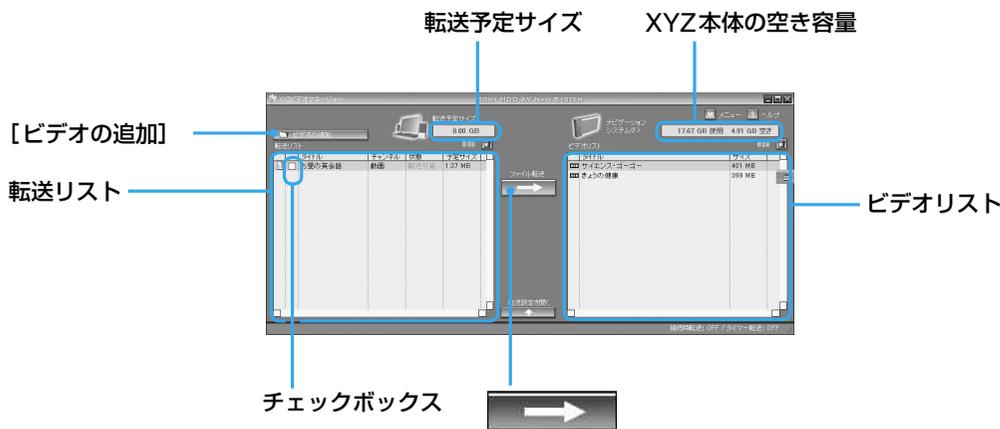
転送中は、転送状況を示すウィンドウが表示され、ウィンドウが消えると転送は完了します。

ご注意

- XYZデスクトップでAVI (DV) やWMV形式のビデオファイルをXYZ本体に転送しても、XYZ本体で再生できません。XYZ本体で再生するためには、必ずXYZビデオマネージャーを使って転送してください。
- XYZ本体の空き容量が足りないときはビデオを転送できません。また、転送中にXYZ本体の空き容量が足りなくなったときは、その時点でエラーメッセージが表示され、それ以降はビデオを転送できません。
- 転送リストにビデオを多数残したままXYZビデオマネージャーを終了すると、次回起動するときに、時間がかかることがあります。

Do VAIO付きパソコンからビデオをXYZ本体に転送する

Do VAIO付きパソコンからは、ビデオファイルとDo VAIOで録画した録画ビデオをXYZ本体に転送できます。



1 [ビデオの追加] をクリックする。

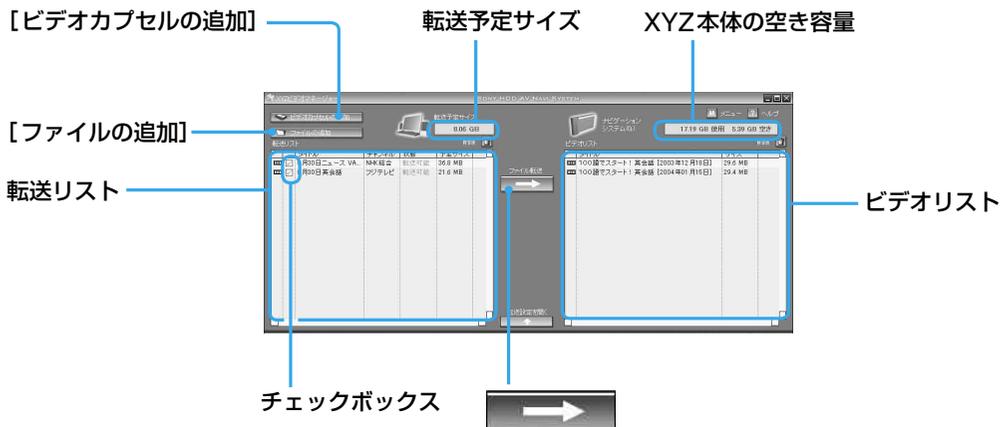
ビデオの追加画面が表示されます。

2 録画ビデオを転送するときは [録画したビデオ] タブを、ビデオファイルを転送するときは [エクスプローラ] タブをクリックする。

3 61ページの「Do VAIOもGiga Pocketも付いていないパソコンからビデオをXYZ本体に転送する」手順2～4の操作をする。

Giga Pocket付きパソコンからビデオをXYZ本体に転送する

Giga Pocket付きパソコンからは、ビデオファイルとGiga Pocketで録画したビデオカプセルをXYZ本体に転送できます。

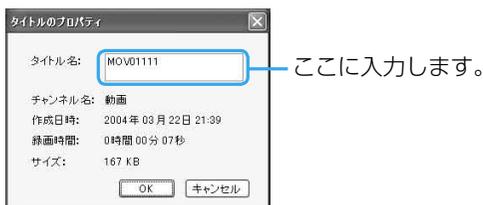


- 1 ビデオカプセルを転送するときは「ビデオカプセルの追加」を、ビデオファイルを転送するときは「ファイルの追加」をクリックする。
「ビデオカプセルの追加」をクリックすると、Giga Pocketエクスプローラが起動し、「ファイルの追加」をクリックすると、エクスプローラが起動します。
- 2 61ページの「Do VAIOもGiga Pocketも付いていないパソコンからビデオをXYZ本体に転送する」手順2～4の操作をする。

XYZ本体のビデオのタイトルをパソコンで編集する

XYZ本体に転送済みのビデオのタイトルを、パソコンで編集できます。

- 1 ビデオリストから、タイトルを編集するビデオを右クリックし、「プロパティ」をクリックする。
タイトルのプロパティが表示されます。
- 2 タイトル名を入力する。
全角32文字まで入力できます。



- 3 [OK] をクリックする。
タイトルのプロパティが閉じ、手順2で入力したタイトルが表示されます。

ご注意

タイトルは、転送リストやビデオリスト上でのみ変更されます。パソコンに保存されているビデオのタイトルは変更されません。

XYZ本体のビデオをパソコンで削除する

XYZ本体に転送したビデオは、パソコンに戻せません。XYZ本体で見なくなったビデオは、パソコンで削除してください。

1 ビデオリストから、削除するビデオをクリックする。

2  をクリックする。



削除してよいかを確認するダイアログが表示されます。

3 **【はい】** をクリックする。

ご注意

- 削除には時間がかかることがあります。
- 削除中は、以下の操作をしないでください。データが壊れる可能性があります。
 - パソコンやXYZ本体の電源を切る/リセットする。
 - USBスイッチを動かす。
 - USBケーブルを抜く。
 - XYZ本体をホームステーションからはずす。
 - ホームステーションのACアダプターをはずす。

XYZビデオマネージャーのヘルプを見る

PC

ヘルプには、タイマーで自動的にビデオをXYZ本体に転送する方法など、本書に記載されていないXYZビデオマネージャーの使いかたや、より詳しい説明が記載されています。

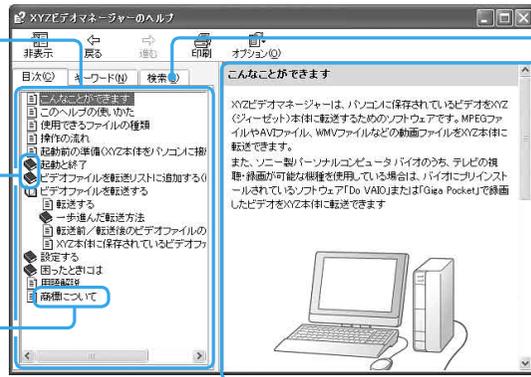
ヘルプ画面

左フレーム
説明の目次を表示します。



目的別に目次をまとめてあります。

タイトル
右フレームに表示される説明のタイトルです。



【検索】
用語を入力して検索します。

右フレーム
説明を表示します。

? をクリックする。



XYZビデオマネージャーのヘルプが表示されます。

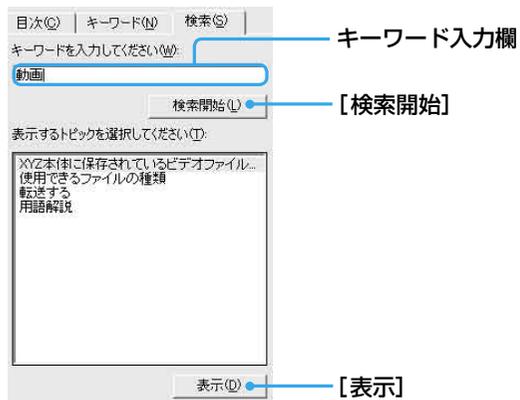
説明を見るには

- 1 左フレームの  をダブルクリックする。
- 2 タイトルをクリックする。

右フレームに説明が表示されます。必要に応じてスクロールしてください。

下線付きの用語をクリックすると、その用語の説明にジャンプします。

用語を入力して調べるには



- 1 [検索] をクリックする。
- 2 キーワード入力欄に調べたい用語を入力し、[検索開始] をクリックする。
入力した用語を含む項目が一覧表示されます。
- 3 読みたい項目をクリックし、[表示] をクリックする。
右フレームに説明が表示されます。



写真

—XYZデスクトップを使う

XYZデスクトップでできること

— 写真を転送する	68
XYZデスクトップを起動する/終了する	69
写真を転送/管理する	71
XYZデスクトップのヘルプを見る	74

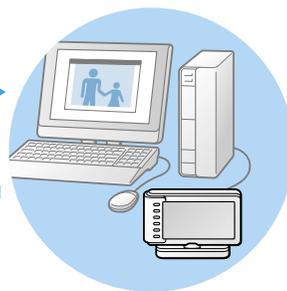
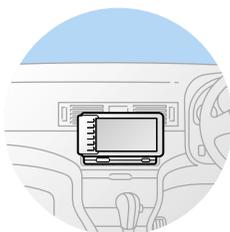
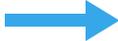
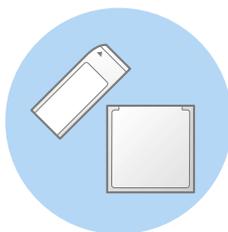
XYZデスクトップでできること

— 写真を転送する

XYZデスクトップは、写真やメールアドレス、ブックマークなど、さまざまなデータの転送や管理ができるソフトウェアです。以下のように、XYZ本体とパソコンの間で写真を転送できます。

外出先でデジカメの写真を保存する

“メモリースティック”や“CF(コンパクトフラッシュ)カード”をXYZ本体に挿入して見たり、写真をXYZ本体に取り込んだりできます(別冊の「取扱説明書」122ページ)。



パソコンで楽しむ

XYZ本体とパソコンの間で写真を、フォルダ単位で転送できます。

ちょっと一言

XYZデスクトップについての詳しい操作説明は、ヘルプで見ることができます(74ページ)。

XYZデスクトップを起動する/終了する

PC

XYZデスクトップは、XYZマップマネージャーやXYZビデオマネージャー、SonicStageなどを起動するランチャーにもなります。

デスクトップの  (XYZデスクトップ) をダブルクリックし、XYZデスクトップを起動する。



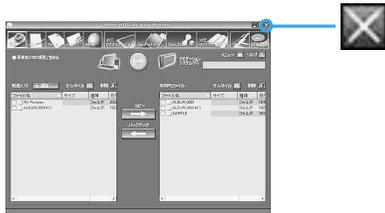
XYZデスクトップ画面が表示されます。

デスクトップに  (XYZデスクトップ) がないときは
[スタート] メニュー → [すべてのプログラム] * → [Sony XYZ] → [XYZデスクトップ] → [XYZデスクトップ] の順にクリックします。

* Windows 2000/Meでは [プログラム]

XYZデスクトップを終了するには

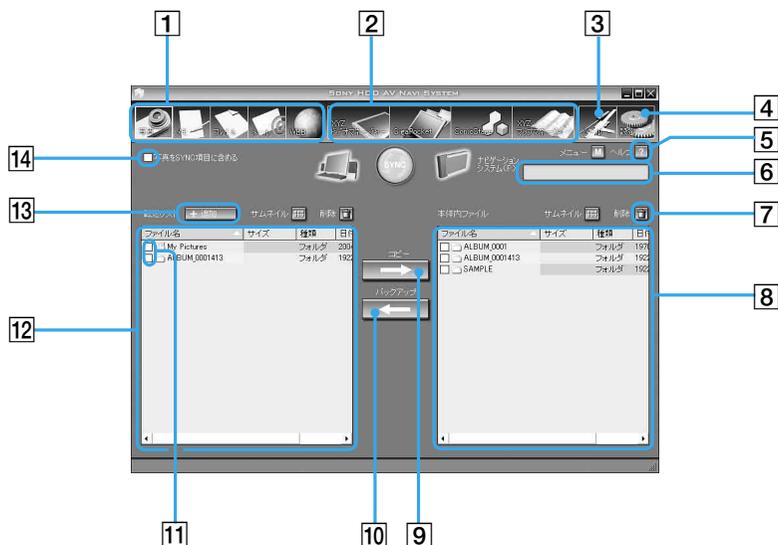
XYZデスクトップ画面の  をクリックします。



次のページにつづく ➡

XYZデスクトップ画面各部のはたらき

XYZデスクトップを起動すると、以下の画面が表示されます。



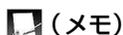
1 画面の切り替え

以下の画面を切り替えて表示します。



(写真)

写真転送画面を表示します (71ページ)。



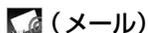
(メモ)

メモ転送画面を表示します。詳しくは、XYZデスクトップのヘルプをご覧ください (74ページ)。



(ファイル)

ファイル転送画面を表示します (89ページ)。



(メール)

メールアドレス転送画面を表示します (79ページ)。



(WEB)

ブックマーク転送/HTMLファイル転送画面を表示します (83、84ページ)。

2 ソフトウェアの起動

以下のソフトウェアを起動します。



(XYZビデオマネージャー)

XYZビデオマネージャーを起動します (59ページ)。



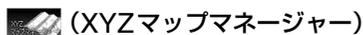
(Giga Pocket)

Giga Pocketを起動します。詳しくは、XYZビデオマネージャーのヘルプをご覧ください (65ページ)。



(SonicStage)

SonicStageを起動します (47ページ)。



(XYZマップマネージャー)

XYZマップマネージャーを起動します (27ページ)。

3 (ツール)

ツール画面を表示します (98ページ)。

4 (設定)

ネットワークプロファイル設定ウィンドウを表示します (94ページ)。



XYZデスクトップのヘルプを表示します。

6 XYZ本体の空き容量

XYZ本体のハードディスクの空き容量を表示します。



XYZ本体のデータを削除します。

8 本体内ファイル一覧

XYZ本体のデータを表示します。



パソコンのデータをXYZ本体に転送します。



XYZ本体のデータをパソコンに転送します。

11 チェックボックス

転送するデータを選びます。

12 転送リスト

[+追加] で登録したデータを表示します。

13 [+追加] (メールアドレス転送画面およびブックマーク転送画面は [+読み込み])
パソコンからXYZ本体に転送するデータを、転送リストに登録します。

14 [SYNC項目チェックボックス]

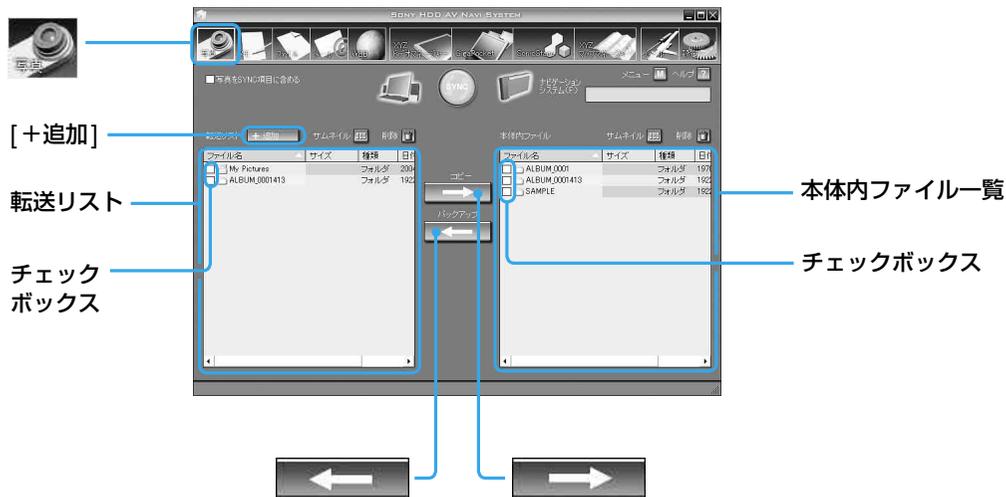
チェックすると、コンテンツ別Sync動作設定ウィンドウで動作設定を選んだコンテンツがSync対象になります (96ページ)。

写真を転送/管理する

PC ↔ XYZ

ここでは、“メモリースティック”や“CF(コンパクトフラッシュ)カード”からXYZ本体のマイピクチャに登録した写真をパソコンに転送する方法や、パソコンに取り込んである写真をXYZ本体に転送する方法を説明しています。

写真転送画面



写真をXYZ本体からパソコンに転送する

パソコンに転送する写真は、あらかじめXYZ本体を操作して、XYZ本体のマイピクチャに登録してください(別冊の「取扱説明書」128ページ)。XYZ本体のマイピクチャに登録していない写真は、下記の手順ではパソコンに転送できません。

なお、XYZ本体の「メディア取り込み」を使って“メモリースティック”や“CFカード”からXYZ本体に取り込んだ写真は、(SYNCボタン)をクリックするとパソコンに転送できます。詳しくは、97ページの「ちょっと一言」をご覧ください。

1 (写真) をクリックする。

写真転送画面が表示され、本体内ファイル一覧に、XYZ本体のマイピクチャ(別冊の「取扱説明書」125ページ)に登録してある写真フォルダが表示されます。

2 本体内ファイル一覧から、パソコンに転送する写真フォルダのチェックボックスをクリックし、にする。

ご注意

転送中は、パソコンのサスペンド、スリープ(スタンバイ状態)、ハイバネーション(休止状態)機能は動きません。

ちょっと一言

[Ctrl] キーを押しながらクリックすると、複数のフォルダを一度に選べます。

次のページにつづく ➡

3 をクリックする。

写真の転送が始まります。

転送中は転送状況を示すウィンドウが表示され、ウィンドウが消えると転送は完了します。なお、パソコンに転送した写真は以下のフォルダに保存されます。

C:\Program Files\Sony\XYZ\Desktop\contents\picture (標準インストール時の設定)

写真をパソコンからXYZ本体に転送する

1 (写真) をクリックする。

写真転送画面が表示されます。

2 [+追加] をクリックする。

追加するフォルダの選択ウィンドウが起動します。

3 追加するフォルダの選択ウィンドウから、XYZ本体に転送する写真のフォルダをクリックし、[追加] をクリックする。



確認のダイアログが表示されます。

4 [OK] をクリックする。

転送リストに、手順3でクリックしたフォルダが登録されます。

5 転送リストから、XYZ本体に転送する写真のフォルダのチェックボックスをクリックし、 にする。

6 をクリックする。

写真の転送が始まります。

転送中は、転送状況を示すウィンドウが表示され、ウィンドウが消えると転送が完了します。

ご注意

転送中は、以下の操作をしないでください。故障の原因になります。

- パソコンやXYZ本体の電源を切る/リセットする。
- USBスイッチを動かす。
- USBケーブルを抜く。
- XYZ本体をホームステーションからはずす。
- ホームステーションのACアダプターをはずす。

ご注意

- 転送中は、パソコンのサスペンド、スリープ(スタンバイ状態)、ハイバネーション(休止状態)機能は働きません。
- 転送中は、以下の操作をしないでください。故障の原因になります。
 - パソコンやXYZ本体の電源を切る/リセットする。
 - USBスイッチを動かす。
 - USBケーブルを抜く。
 - XYZ本体をホームステーションからはずす。
 - ホームステーションのACアダプターをはずす。
- 写真はフォルダ単位でのみ転送できます。

ちょっと一言

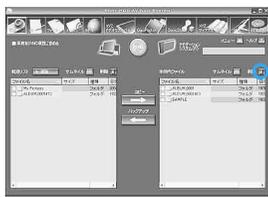
[Ctrl] キーを押しながらクリックすると、複数のフォルダを一度に選べます。

XYZ本体の写真をパソコンで削除する

XYZ本体に保存してある写真をフォルダ単位でパソコンで削除できます。

1 本体内ファイルリストから、削除する写真のフォルダをクリックする。

2  (本体内ファイル側) をクリックする。



 (本体内ファイル側)

削除してよいかを確認するダイアログが表示されます。

3 [はい] をクリックする。

ご注意

-  (転送リスト側) をクリックし、[実体も削除する] のチェックボックスを にすると、パソコンのデータも同時に削除されます。パソコンのデータは一度削除すると、復元できません。
- 削除中は、パソコンのサスペンド、スリープ (スタンバイ状態)、ハイバネーション (休止状態) 機能は動きません。
- 削除中は、以下の操作をしないでください。故障の原因になります。
 - パソコンやXYZ本体の電源を切る/リセットする。
 - USBスイッチを動かす。
 - USBケーブルを抜く。
 - XYZ本体をホームステーションからはずす。
 - ホームステーションのACアダプターをはずす。

ちょっと一言

[Ctrl] キーを押しながらクリックすると、複数のフォルダを一度に選べます。

XYZデスクトップのヘルプを見る

PC

ヘルプには、XYZデスクトップの使いかたや、より詳しい説明が記載されています。「XYZ本体のデータをバックアップする」といった操作の目的で探したり、思いついた用語で検索したりできます。

ヘルプ画面

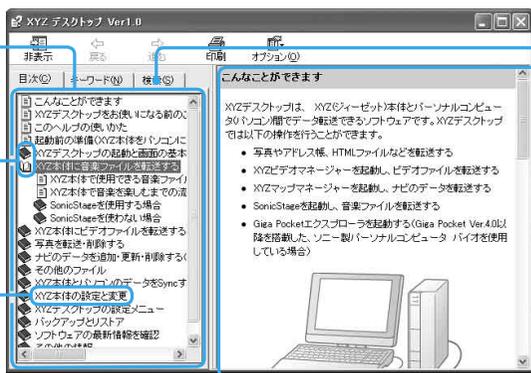
左フレーム
説明の目次を表示します。



目的別に目次をまとめてあります。

タイトル

右フレームに表示される説明のタイトルです。



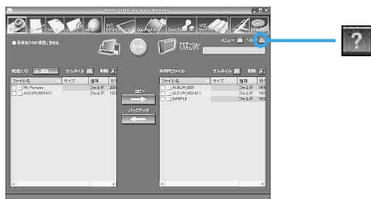
[検索]

用語を入力して検索します。

右フレーム

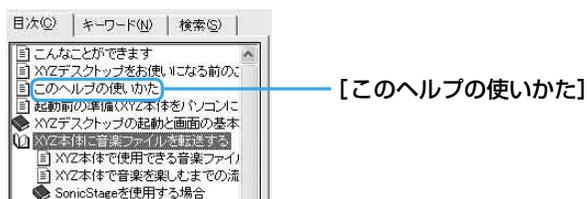
説明を表示します。

? をクリックする。



XYZデスクトップのヘルプが表示されます。

ヘルプの使いかたを見るには

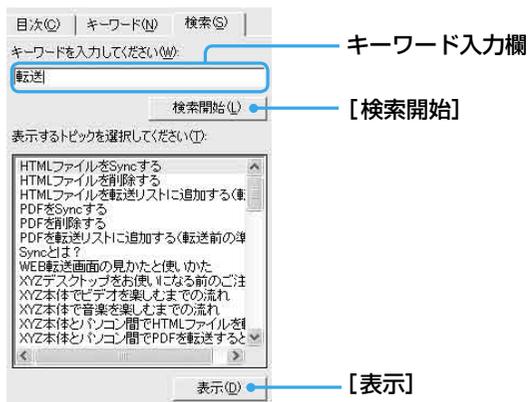


左フレームの [このヘルプの使いかた] をクリックする。

右フレームに説明が表示されます。必要に応じてスクロールしてください。

下線付きの用語をクリックすると、その用語の説明にジャンプします。

用語を入力して調べるには



- 1 [検索] をクリックする。
- 2 キーワード入力欄に調べたい用語を入力し、[検索開始] をクリックする。
入力した用語を含む項目が一覧表示されます。
- 3 読みたい項目をクリックし、[表示] をクリックする。
右フレームに説明が表示されます。



メール

— XYZデスクトップを使う

XYZデスクトップでできること

— メールアドレスを転送する	78
メールアドレスを転送/管理する	79

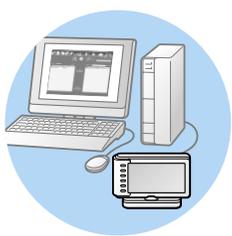
XYZデスクトップでできること

— メールアドレスを転送する

XYZデスクトップは、写真やメールアドレス、ブックマークなど、さまざまなデータの転送や管理ができるソフトウェアです。以下のように、パソコンからXYZ本体にメールアドレスを転送できます。

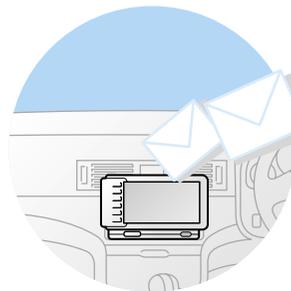
メールアドレスを準備する

パソコンでやり取りしたメールのメールアドレスをパソコンからXYZ本体に転送したり、パソコンでXYZ本体のメールアドレスを編集したりできます。



車で楽しむ

XYZ本体でメールアドレスを入力しなくても、すぐにメールのやり取りができます。



ご注意

- XYZ本体でメールをやり取りするには、インターネットに接続できる環境とプロバイダ契約が必要です。
- メールアドレスはXYZ本体からパソコンには転送できません。

ちょっと一言

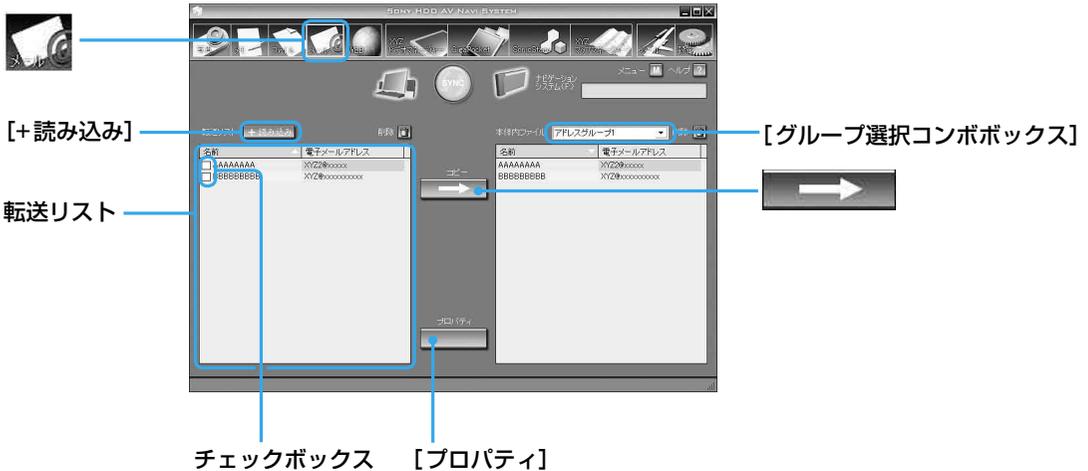
XYZデスクトップについての詳しい操作説明は、ヘルプで見ることができます(74ページ)。

メールアドレスを転送/管理する

PC → XYZ

ここでは、パソコンのメールソフトのアドレス帳に登録してあるメールアドレスを、XYZ本体に転送する方法や管理する方法を説明しています。

メールアドレス転送画面



メールアドレスをパソコンからXYZ本体に転送する

- 1**  (メール) をクリックする。
メールアドレス転送画面が表示されます。
- 2** **[+読み込み]** をクリックする。
アドレス帳読み込みツールウィンドウが表示されます。
- 3** アドレス帳読み込みツールウィンドウから、パソコンに転送するアドレス帳が登録してあるメールソフトをクリックし、**[読み込み]** をクリックする。

転送リストにメールアドレスが表示されます。
- 4** 転送リストから、XYZ本体に転送するメールアドレスのチェックボックスをクリックし、 にする。

ご注意

- 転送中は、パソコンのサスペンド、スリープ（スタンバイ状態）、ハイバネーション（休止状態）機能は働きません。
- 転送中は、以下の操作をしないでください。データが壊れる可能性があります。
 - パソコンやXYZ本体の電源を切る。
 - USBスイッチを動かす。
 - USBケーブルを抜く。
 - XYZ本体をホームステーションからはずす。
 - ホームステーションのACアダプターをはずす。
- メールアドレスを転送できるのは、Outlook Expressのみです。

ちょっと一言

[Ctrl] キーを押しながらかクリックすると、複数のメールアドレスを一度に選べます。

次のページにつづく ➡

5 [グループ選択コンボボックス] をクリックし、メールアドレスを転送するグループを選ぶ。

6  をクリックする。
メールアドレスの転送が始まります。
転送中はマウスのポインタが、矢印から砂時計に変わります。
砂時計が消えると、転送は完了します。

ちょっと一言
1グループにつき100件までアドレス登録できます。

XYZ本体のメールアドレスをパソコンで編集する

1  (メール) をクリックする。
メールアドレス転送画面が表示されます。

2 メールアドレスをクリックし、[プロパティ] をクリックする。
メールアドレスのプロパティが表示されます。

3 メールアドレスを編集し、[OK] をクリックする。



ホームページ (WEB) —XYZデスクトップを使う

XYZデスクトップでできること

—ホームページ (WEB) を転送する	82
ブックマークやHTML ファイルを転送する	83

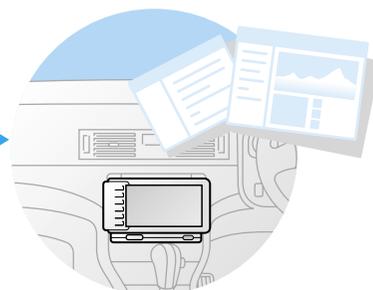
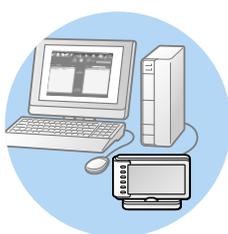
XYZデスクトップでできること

— ホームページ (WEB) を転送する

XYZデスクトップは、写真やメールアドレス、ブックマークなど、さまざまなデータの転送や管理ができるソフトウェアです。以下のように、ブックマークや自分で作成したHTMLファイルをパソコンからXYZ本体に転送できます。

ホームページを準備する

パソコンに登録してあるブックマークや自分で作成したHTMLファイルを、XYZ本体に転送できます。



車で楽しむ

XYZ本体でアドレスを入力しなくても、すぐにホームページが楽しめます。

ご注意

- XYZ本体でホームページを見るには、インターネットに接続できる環境とプロバイダ契約が必要です。
- ブックマークはXYZ本体からパソコンには転送できません。

ちょっと一言

XYZデスクトップについての詳しい操作説明は、ヘルプで見ることができます (74ページ)。

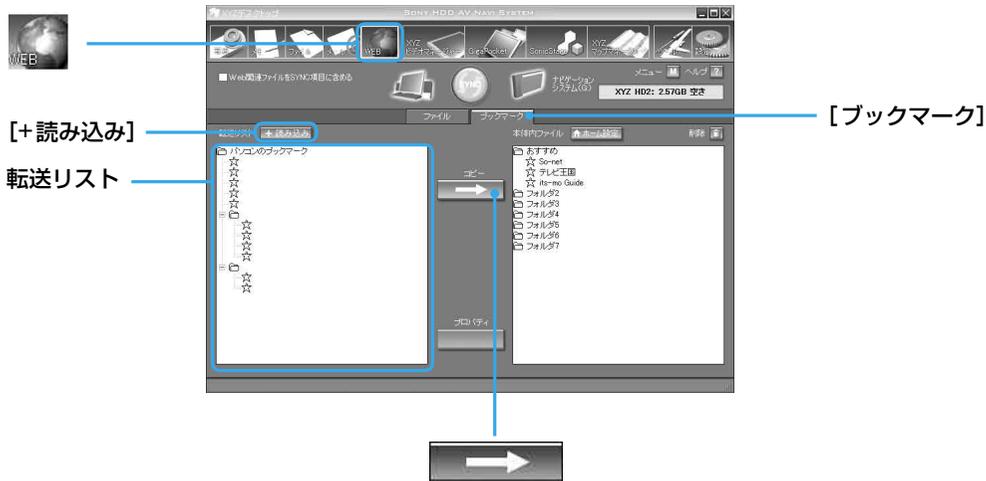
ブックマークやHTMLファイルを転送する

PC ↔ XYZ

ここでは、パソコンとXYZ本体の間でブックマークやHTMLファイルを転送する方法を説明しています。

ブックマークをパソコンからXYZ本体に転送する

ブックマーク転送画面



- 1** **WEB** をクリックし、**[ブックマーク]** をクリックする。
ブックマーク転送画面が表示されます。
- 2** **[+読み込み]** をクリックする。
ブックマーク読み込みツールウィンドウが表示されます。
- 3** ブックマーク読み込みツールウィンドウから、XYZ本体に転送するブックマークが登録してあるWEBブラウザをクリックし、**[読み込み]** をクリックする。

転送リストにブックマークが表示されます。
- 4** 転送リストから、XYZ本体に転送するブックマークをクリックする。

ご注意

- ブックマークはXYZ本体からパソコンには転送できません。
- 転送中は、パソコンのサスペンド、スリープ（スタンバイ状態）、ハイバネーション（休止状態）機能は働きません。
- 転送中は、以下の操作をしないでください。データが壊れる可能性があります。
 - パソコンやXYZ本体の電源を切る。
 - USBスイッチを動かす。
 - USBケーブルを抜く。
 - XYZ本体をホームステーションからはずす。
 - ホームステーションのACアダプターをはずす。
- ブックマークを転送できるWEBブラウザはInternet Explorerのみです。

ホームページ (WEB) — XYZ インスタントアップを使う

次のページにつづく ➡

5 をクリックする。

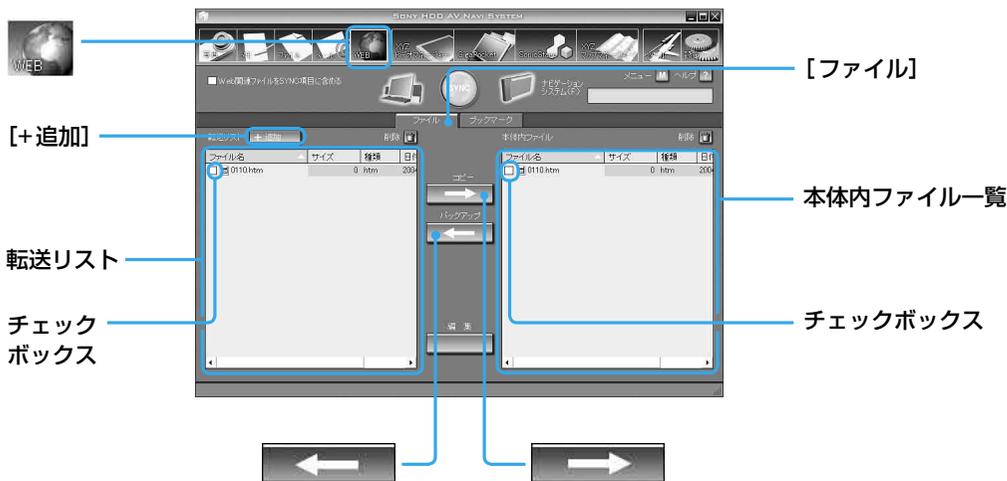
ブックマークの転送が始まります。

転送中はマウスのポインタが、矢印から砂時計に変わります。

砂時計が消えると、転送は完了します。

HTML ファイルをパソコンから XYZ 本体に転送する

HTML ファイル転送画面



1 (WEB) をクリックし、[ファイル] をクリックする。

HTML ファイル転送画面が表示されます。

2 [+追加] をクリックする。

追加するファイル/フォルダの選択ウィンドウが開きます。

3 追加するファイル/フォルダの選択ウィンドウから、XYZ 本体に転送する HTML ファイルをクリックし、[追加] をクリックする。



確認のダイアログが表示されます。

4 [OK] をクリックする。

転送リストに、手順3でクリックした HTML ファイルが表示されます。

ご注意

- 転送中は、パソコンのサスペンド、スリープ（スタンバイ状態）、ハイバネーション（休止状態）機能は働きません。
- 転送中は、以下の操作をしないでください。データが壊れる可能性があります。
 - パソコンや XYZ 本体の電源を切る。
 - USB スイッチを動かす。
 - USB ケーブルを抜く。
 - XYZ 本体をホームステーションからはずす。
 - ホームステーションの AC アダプターをはずす。

ちょっと一言

[Ctrl] キーを押しながらクリックすると、複数の HTML ファイルを一度に選べます。

5 転送リストから、XYZ本体に転送するHTMLファイルのチェックボックスをクリックし、にする。

6  をクリックする。

HTMLファイルの転送が始まります。

転送中は転送状況を示すウィンドウが表示され、ウィンドウが消えると転送は完了します。

XYZ本体のHTMLファイルをパソコンで削除する

1 本体内ファイルリストから、削除するHTMLファイルをクリックする。

2  (本体内ファイル側) をクリックする。



 (本体内ファイル側)

削除してよいかを確認するダイアログが表示されます。

3 [はい] をクリックする。

HTMLファイルをXYZ本体からパソコンに転送する

1  (WEB) をクリックし、[ファイル] をクリックする。

HTMLファイル転送画面が表示されます。

2 本体内ファイル一覧から、パソコンに転送するHTMLファイルのチェックボックスをクリックし、にする。

3  をクリックする。

HTMLファイルの転送が始まります。

転送中は転送状況を示すウィンドウが表示され、ウィンドウが消えると転送は完了します。

ご注意

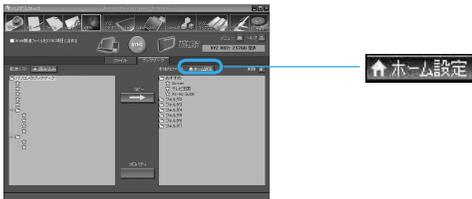
-  (転送リスト側) をクリックし、[実体も削除する] のチェックボックスを にすると、パソコンのデータも同時に削除されます。パソコンのデータは一度削除すると、復元できません。
- 削除中は、パソコンのサスペンド、スリープ (スタンバイ状態)、ハイバネーション (休止状態) 機能は働きません。
- 削除中は、以下の操作をしないでください。故障の原因になります。
 - パソコンやXYZ本体の電源を切る/リセットする。
 - USBスイッチを動かす。
 - USBケーブルを抜く。
 - XYZ本体をホームステーションからはずす。
 - ホームステーションのACアダプターをはずす。

次のページにつづく 

パソコンでXYZ本体のホーム設定を行う

1  (WEB) をクリックし、[ブックマーク] をクリックする。

2  ホーム設定 をクリックする。



3 ホーム設定ウィンドウで任意のURLを入力する。

4 [OK] をクリックする



ファイル

— XYZデスクトップを使う

XYZデスクトップでできること

— ファイルやフォルダを転送する.....	88
ファイルやフォルダを転送/管理する	89

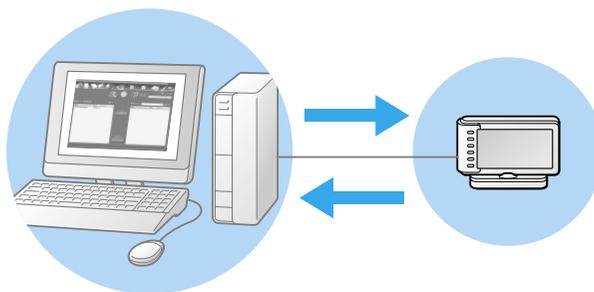
XYZデスクトップでできること

— ファイルやフォルダを転送する

XYZデスクトップは、写真やメールアドレス、ブックマークなど、さまざまなデータの転送や管理ができるソフトウェアです。以下のように、パソコンとXYZ本体の間でファイルやフォルダを転送できます。

ファイルやフォルダを転送する

パソコンとXYZ本体の間でファイルやフォルダを転送して、XYZ本体をハードディスクとして使えます。



ご注意

- XYZデスクトップでXYZ本体に転送した音楽ファイルのうち、XYZ本体で聞くことができるのはMP3形式の曲のみです。ただし、MP3形式の曲は、XYZ本体からパソコンには転送できません。
- XYZデスクトップでXYZ本体に転送したMP3形式の曲は個人で楽しむ目的のほかは、ご利用になれません。

ちょっと一言

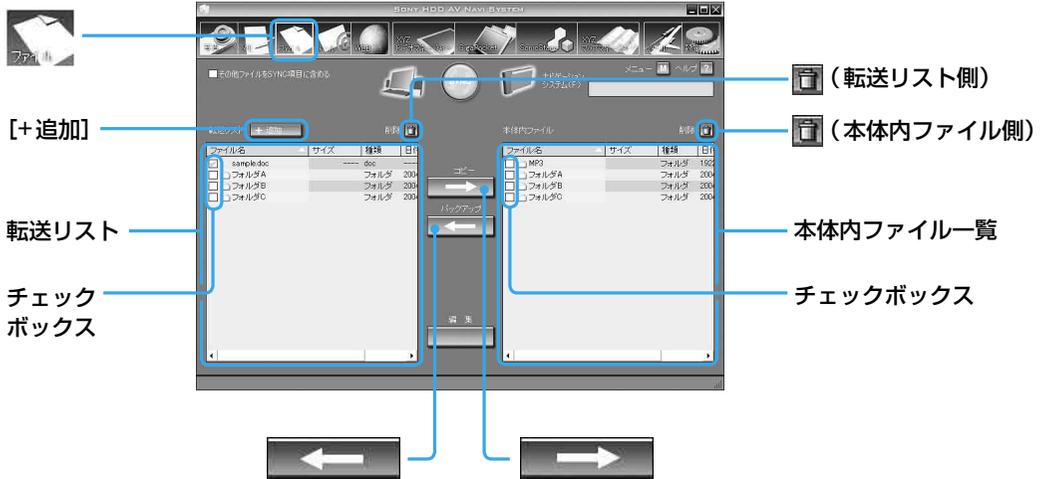
- XYZデスクトップについての詳しい操作説明は、ヘルプで見ることができます(74ページ)。
- XYZデスクトップでは、メモ(テキストファイル)の作成や転送もできます。詳しくは、XYZデスクトップのヘルプをご覧ください(74ページ)。ただし、XYZデスクトップで作成したメモはパソコンのOSによっては文字コードの制約により、正しく開けない場合があります。

ファイルやフォルダを転送/管理する



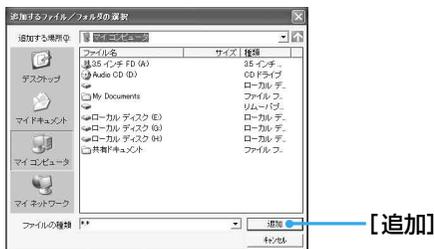
ここでは、パソコンとXYZ本体の間でファイルやフォルダを転送する方法や、ファイルやフォルダを管理する方法を説明しています。

ファイル転送画面



ファイルやフォルダをパソコンからXYZ本体に転送する

- 1** (ファイル) をクリックする。
ファイル転送画面が表示されます。
- 2** [+追加] をクリックする。
追加するファイル/フォルダの選択ウィンドウが開きます。
- 3** 追加するファイル/フォルダの選択ウィンドウから、XYZ本体に転送するファイルやフォルダをクリックし、[追加] をクリックする。



確認のダイアログが表示されます。

ご注意

- 転送中は、パソコンのサスペンド、スリープ（スタンバイ状態）、ハイバネーション（休止状態）機能は働きません。
- 転送中は、以下の操作をしないでください。データが壊れる可能性があります。
 - パソコンやXYZ本体の電源を切る。
 - USBスイッチを動かす。
 - USBケーブルを抜く。
 - XYZ本体をホームステーションからはずす。
 - ホームステーションのACアダプターをはずす。

次のページにつづく ➡

4 [OK] をクリックする。

転送リストに、手順3でクリックしたファイルやフォルダが登録されます。

5 XYZ本体に転送するファイルやフォルダのチェックボックスをクリックし、 にする。

6 をクリックする。

ファイルやフォルダの転送が始まります。

転送中は、転送状況を示すウィンドウが表示され、ウィンドウが消えると転送が完了します。

ちょっと一言

- [Ctrl] キーを押しながらかlickすると、複数のファイルやフォルダを一度に選べます。
- XYZ本体でビデオや写真を再生するには、以下のページの手順に従って転送してください。
 - ビデオ (61、62、63ページ)
 - 写真 (72ページ)
- ファイル転送画面でXYZ本体に転送したビデオ、写真はファイルブラウザから再生できます。

XYZ本体のファイルやフォルダをパソコンで削除する

1 (ファイル) をクリックする。

ファイル転送画面が表示されます。

2 本体内ファイル一覧から、削除するファイルやフォルダをクリックする。

3 (本体内ファイル側) をクリックする。



 (本体内ファイル側)

削除してよいかを確認するダイアログが表示されます。

4 [はい] をクリックする。

ご注意

-  (転送リスト側) をクリックし、[実体も削除する] のチェックボックスを にすると、パソコンのデータも同時に削除されます。パソコンのデータは一度削除すると、復元できません。
- 削除中は、パソコンのサスペンド、スリープ (スタンバイ状態)、ハイバネーション (休止状態) 機能は働きません。
- 削除中は、以下の操作をしないでください。データが壊れる可能性があります。
 - パソコンやXYZ本体の電源を切る/リセットする。
 - USBスイッチを動かす。
 - USBケーブルを抜く。
 - XYZ本体をホームステーションからはずす。
 - ホームステーションのACアダプターをはずす。

ファイルやフォルダをXYZ本体からパソコンに転送する

- 1**  (ファイル) をクリックする。
ファイル転送画面が表示されます。
- 2** 本体内ファイル一覧から、パソコンに転送するファイルやフォルダのチェックボックスをクリックし、 にする。
- 3**  をクリックする。
ファイルやフォルダの転送が始まります。
転送中は、転送状況を示すウィンドウが表示され、ウィンドウが消えると転送が完了します。

ご注意

MP3形式のファイルはパソコンに転送できません。

データの管理と更新

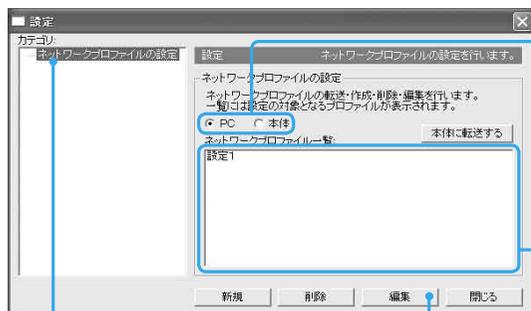
ネットワークプロファイルの設定や変更をする	94
XYZ本体とパソコンのデータを同期させる	
— Sync.....	96
XYZ本体のデータをバックアップする/リストアする.....	98
XYZ本体のパーティションを変更する	100
ソフトウェアの最新情報を確認する	104

ネットワークプロファイルの設定や変更をする



XYZ本体は、メールやWEBブラウザの設定がネットワークプロファイルとして保存されています。パソコンでXYZ本体のネットワークプロファイルを設定したり、XYZ本体のネットワークプロファイルをパソコンに転送したりできます。

ネットワークプロファイル設定ウィンドウ



プロフィール選択ラジオボタン
パソコンとXYZ本体、どちらのネットワークプロファイルの設定や変更をするかを選びます。

ネットワークプロファイル表示エリア
パソコンやXYZ本体のネットワークプロファイルを表示します。

[ネットワークプロファイルの設定]

【編集】
ネットワークプロファイル編集ウィンドウを表示します。

- 1** XYZデスクトップを起動し(69ページ)、 (設定) をクリックする。
ネットワークプロファイル設定ウィンドウが表示されます。
- 2** [ネットワークプロファイルの設定] をクリックする。
- 3** プロファイル選択ラジオボタンの本体側の  をクリックし、 にする。
ネットワークプロファイル表示エリアに、XYZ本体のネットワークプロファイルが表示されます。

ご注意

利用中のネットワークプロファイルは編集できません。編集できるネットワークプロファイルがないときは、[新規] をクリックし、ネットワークプロファイルを新しく作成してください。詳しくは、XYZデスクトップのヘルプをご覧ください(74ページ)。

ちょっと一言

パソコンのネットワークプロファイルをXYZ本体に転送することもできます。詳しくは、XYZデスクトップのヘルプをご覧ください(74ページ)。

4 設定を変更するネットワークプロファイルをクリックし、[編集] をクリックする。

ネットワークプロファイル編集ウィンドウが表示されます。ネットワークプロファイル編集ウィンドウでは、以下の項目を設定、変更できます。詳しくは、パソコンやプロバイダなどの取扱説明書をご覧ください。

基本設定

「プロファイル名」と「接続方法」、「LAN設定」、「無線LAN設定」を設定、変更できます。

メール設定

「フルネーム」と「メールアドレス」、「送信 (SMTP)」、「受信 (POP3)」を設定、変更できます。

プロキシ設定

プロキシサーバー使用時のサーバーアドレスやポート番号の設定、変更ができます。

5 設定や変更が完了したら、[OK] をクリックする。

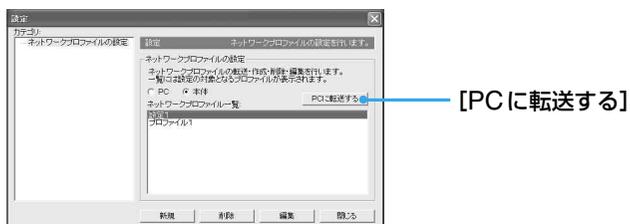
設定や変更した内容がネットワークプロファイルに適用され、ネットワークプロファイル編集ウィンドウが閉じます。

6 [閉じる] をクリックする。

ネットワークプロファイル設定ウィンドウが閉じます。

XYZ本体のネットワークプロファイルをパソコンに転送するには
XYZ本体で設定済みのネットワークプロファイルをパソコンに転送できます。

- 1 94 ページの手順 1 ～ 3 の操作をする。
- 2 転送するネットワークプロファイルをクリックし、[PCに転送する] をクリックする。



ネットワークプロファイルの転送が始まります。

XYZ本体とパソコンのデータを同期させる

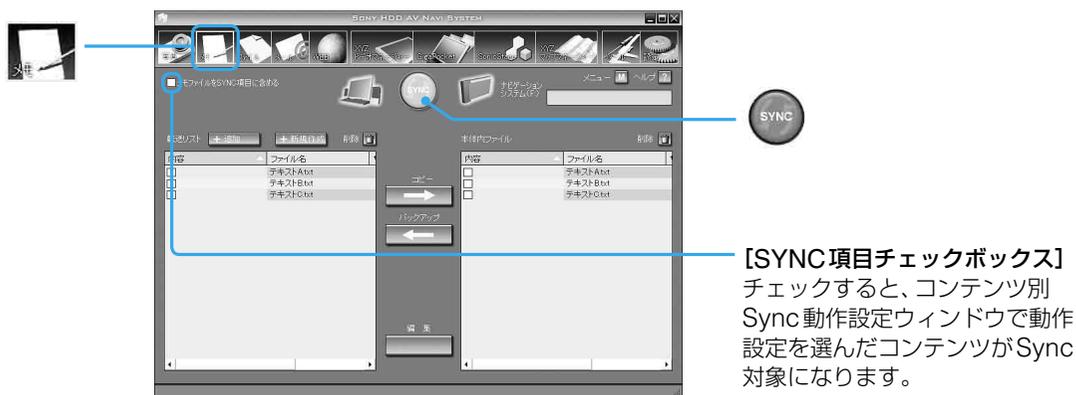
— Sync



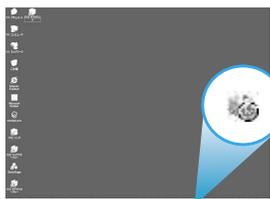
Sync (同期) とは、XYZ本体とパソコンの間でどちらか一方のデータをもう一方のデータで上書きし、両方のデータを同じ状態にすることです。XYZデスクトップは、写真およびメモ、その他のファイル、HTML ファイル、ネットワークプロフィールの5つのコンテンツを Sync できます。

ここでは、ファイル名が同じで内容が異なる2種類のメモがあるとき、作成日時が古いメモを、作成日時が新しいメモで上書きする場合を例に、操作方法を説明しています。

メモ転送画面



1 タスクトレイの (XYZシンク) をダブルクリックする。



Sync 動作設定ウィンドウが表示されます。

2 Sync 動作設定ウィンドウから、同期させるコンテンツをダブルクリックする。

同期できるコンテンツは以下の5種類です。

写真コンテンツ

写真転送画面 (71 ページ) でやり取りするデータ。

メモコンテンツ

メモ転送画面でやり取りするデータ。詳しくはXYZデスクトップのヘルプをご覧ください (74 ページ)。

ご注意

- ブックマークは Sync できません。
- [SYNC 項目チェックボックス] が になっているコンテンツは、すべて Sync が行われます。Sync したくないコンテンツは [SYNC 項目チェックボックス] を (チェックなし) にしてください。

ファイルコンテンツ

ファイル転送画面 (89ページ) でやり取りするデータ。

Web コンテンツ

HTML ファイル転送画面 (84ページ) でやり取りするデータ。

ネットワークプロファイル設定情報

ネットワークプロファイル設定ウィンドウ (94ページ) で設定するネットワークプロファイル。

ここでは、[メモコンテンツ] をダブルクリックします。



ちょっと一言

XYZ本体の「メディア取り込み」(別冊の「取扱説明書」131ページ) を使ってXYZ本体に取り込んだ「メモリースティック」や「CF(コンパクトフラッシュ)カード」のデータは、(SYNCボタン) をクリックするとパソコンに転送され、下記のフォルダに保存されます。
C:\Program Files\Sony\XYZ Desktop\contents\MediaBackup(標準インストール時)

この転送は、[Sync項目チェックボックス] のチェックの有無に関わらず行われます。

3 コンテンツ別 Sync 動作設定ウィンドウから、動作設定をクリックして選ぶ。

選べる動作設定は以下の4種類です。

何もしない

Syncしない設定。

同期(マージ)する

古いデータを新しいデータで上書きする設定。

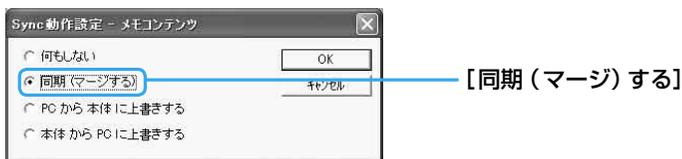
PCから本体に上書きする

XYZ本体のデータをパソコンのデータで上書きする設定。

本体からPCに上書きする

パソコンのデータをXYZ本体のデータで上書きする設定。

ここでは[同期(マージ)する]をクリックし、[OK]をクリックします。



4 手順2の[閉じる]をクリックし、Sync動作設定ウィンドウを閉じる。

5 [メモ]をクリックする。

6 [SYNC項目チェックボックス]をクリックし、[]にする。

7 [SYNC] をクリックする。

Syncが開始されます。

Sync中は状況を示すウィンドウが表示され、ウィンドウが消えるとSyncは完了します。

XYZ本体のデータをバックアップする/ リストアする



XYZ本体のデータが破損したり、誤って大切なデータを削除してしまったりしても、データをバックアップしておけば、XYZ本体のデータをリストア（復旧）できます。

以下の3種類のデータをバックアップできます。

- メール
- メールアドレス
- ネットワークプロファイル

ツール画面



【バックアップ開始】

【リストア開始】

XYZ本体のデータをバックアップする

1 (ツール) をクリックする。

ツール画面が表示されます。

2 [バックアップ開始] をクリックする。

フォルダの参照ウィンドウが表示されます。

3 フォルダの参照ウィンドウから、データをバックアップするフォルダをクリックして選び、[OK] をクリックする。



フォルダを選びます。

確認のダイアログが表示されます。

4 [はい] をクリックする。

バックアップが始まります。

バックアップ中は、状況を示すウィンドウが表示され、ウィンドウが消えると、バックアップは完了します。

バックアップが完了すると、手順3で選んだフォルダの直下に「XYZbackup」の名前でフォルダが作成されます。

XYZ本体のデータをリストアする

1 (ツール) をクリックする。

ツール画面が表示されます。

2 [リストア開始] をクリックする。

リストアが始まります。

リストア中は状況を示すウィンドウが表示され、ウィンドウが消えるとリストアは完了します。

ご注意

- リストアする前のXYZ本体のバックアップ対象データがすべて上書きされます。
- バックアップデータがパソコンにないときは、リストアできません。

XYZ本体のパーティションを変更する



「パーティション変更」とは

「パーティション変更」とは、XYZ本体のハードディスクの分割の割合を変更することです。

パーティション変更には地図の復元作業が必要です。地図の復元作業には、お使いのパソコンのスペックがPentium® 4 CPU 2.8GHz USB2.0相当の場合で全国地図データの転送に約7時間かかり、終了するまでXYZ本体が使用できません。また残りすべての地図データを転送するには更に最大で約7時間（合計14時間）かかり、地図データの復元中にナビ用リカバリDVD-ROMの入れ替えや、追加購入した地図データが保存されているフォルダの指定などの操作が必要になります。

XYZ本体のハードディスクは、使用目的により「XYZ HD1」と「XYZ HD2」の二つの領域に分割されており、各領域はその上限までのデータを格納できます。

- 「XYZ HD1」に格納されているデータ
 - 地図データ（市街地図、案内検索データ、3Dガイドデータ）
 - SonicStageで転送するデータ
 - XYZビデオマネージャーで転送するデータ
- 「XYZ HD2」に格納されているデータ
 - XYZデスクトップで転送するデータ（写真、メモ、その他ファイル）
 - “メモリースティック”、“CFカード”をバックアップしたデータ

「パーティション変更」は特定の種類のデータをより多く格納したい場合にご使用ください。より多く格納したいデータの種類に合わせて「XYZ HD1」、「XYZ HD2」のハードディスクの分割の割合を変更することができます。

この機能を行う場合は、必ず事前に以下の「ご注意」を十分にお読みいただき、データのバックアップの準備や所要時間なども考慮して行ってください。

ご注意

- パーティション変更を行うには、本機に付属の以下のソフトウェアがパソコンにインストールされている必要があります。
 - XYZデスクトップ
 - XYZシンク
 - XYZマップマネージャー
- パーティション変更を行っても、XYZ本体のハードディスク容量は増えません。
- ハードディスクを分割する割合を変更するため、片方の領域の使用上限を増やすと、その分、他方の領域は減ります。場合によっては以前格納されていたデータが入りきらなくなる場合があります。
- 「XYZ HD2」を増やしたい場合には、「XYZ HD1」のデータ容量を減らす必要がありますが「XYZ HD1」のデータは格納されている地図データの合計容量より小さく設定することができません。「XYZ HD2」を増やしたい場合には、「XYZ HD1」に格納されている地図データの不要なものをあらかじめXYZマップマネージャーで削除しておいてください。

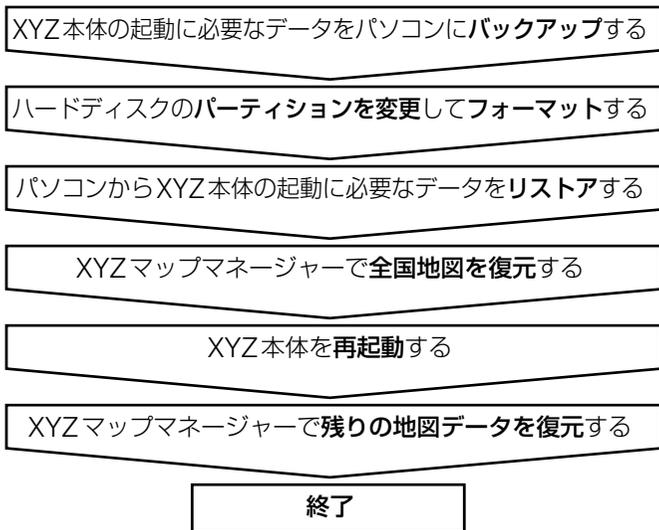
重要なお注意

- 「パーティション変更」を行うと、以下のデータが消去されます。
 - お客様がXYZ本体に転送したデータ。
 - お買い上げ時に格納されていた、プリインストールビデオ/音楽/写真のサンプルデータ
- XYZデスクトップで扱うデータ（写真、メモ、その他ファイル）、「メモリースティック」/「CFカード」からバックアップしたデータは、パーティション変更を行う前に、Sync（同期）を行い、パソコン上に一旦退避させ、パーティション変更後に再度Sync（同期）することにより復元できます。
- SonicStage、XYZビデオマネージャーで転送したデータ、MP3ファイルはパーティション変更ではバックアップされません。パーティション変更後に再度転送しなおしてください。
- パーティション変更の最後には、地図データを復元する必要があります。またXYZに転送する地図データが格納されたナビ用リカバリDVD-ROMや、お客様が購入された地図データなども留意しておいてください。
- 地図データ復元の開始時に処理時間が非常に大きな値で表示される場合がありますが、処理が進むにつれて正確な値に戻ります。

パーティション変更の流れ

XYZ本体のパーティション変更は、以下のステップで自動的に実行されます。前ページの注意事項をご理解のうえ、画面の案内に従い、確実に操作してください。

パーティション変更の流れ



1 XYZデスクトップ (70ページ) の  (ツール) をクリックする。

ツール画面が表示されます。

2 [パーティション変更] をクリックする。

XYZ本体から必要な情報を収集したあと、パーティション変更画面が表示されます。

次のページにつづく ➡

ご注意

パーティション変更中は、以下の操作をしないでください。データが壊れる可能性があります。

- パソコンやXYZ本体の電源を切る/リセットする。
- USBスイッチを動かす。
- USBケーブルを抜く。
- XYZ本体をホームステーションからはずす。
- ホームステーションのACアダプターをはずす。

ご注意

地図の復元作業には、最低でも6時間以上かかります。所要時間は復元する量やパソコンの性能などにより異なります。

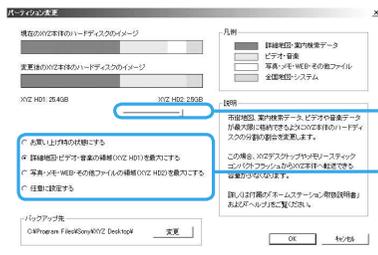
3 パーティション変更の方法を選ぶ。

4種類の方法のいずれかのラジオボタンをクリックします。

ラジオボタンの項目	説明
お買い上げ時の状態にする	XYZ本体のハードディスクの分割の割合をお買い上げ時の状態に戻します。
詳細地図・ビデオ・音楽の領域 (XYZ HD1) を最大にする	市街地図、案内検索データ、ビデオや音楽データが最大限に格納できるようにXYZ本体のハードディスクの分割を変更します。 この場合、XYZデスクトップや“メモリースティック”・“CF (コンパクトフラッシュ) カード” からXYZ本体へ転送できる容量が少なくなります。
写真・メモ・WEB・その他ファイルの領域 (XYZ HD2) を最大にする	XYZデスクトップや“メモリースティック”・“CF (コンパクトフラッシュ) カード” から転送できる容量が最大限になるようにXYZ本体のハードディスクの分割の割合を変更します。 この場合、XYZビデオマネージャーやSonicStageからXYZ本体へ転送できる容量が少なくなります。
任意に設定する	XYZ本体のハードディスクの分割の割合を任意に変更できます。スライダーを左右に動かして分割の割合を変更してください。

ご注意

左記の画面が表示されたとき、XYZマップマネージャーが起動していない場合は、自動的に起動します。



スライダー

パーティション
変更の方法

4 バックアップ先を確認する。

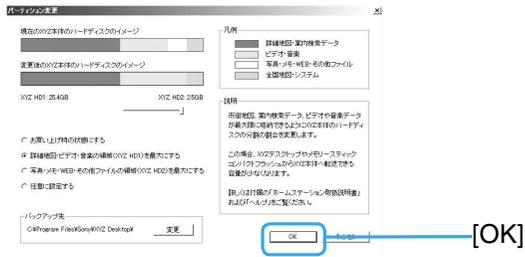
画面に表示されたバックアップ先を確認します。

必要な場合は、[変更]をクリックし、変更先ダイアログボックスで指定します。



バックアップ先

5 [OK]をクリックする。



以下の処理が実行されます。

- XYZ本体の起動に必要なデータのバックアップ
- ハードディスクのパーティションの変更とフォーマット
- XYZ本体の起動に必要なデータのリストア

6 地図の復元のためにXYZマップマネージャーを使用するメッセージが表示されたら、[OK]をクリックする。



ご注意

全国地図の復元を必ず行ってください。復元操作を完了しないと、XYZ本体は使用できません。

地図修復画面が表示されます。

7 地図修復画面(40ページ)で、**地図データ修復**をクリックしてXYZ本体の地図を復元する。

最初に全国地図の転送が行われ、一度再起動をしてから残りの地図データが復元されます。

以上でパーティション変更は完了です。

ソフトウェアの最新情報を確認する

PC

付属のインストールCD-ROMに収録されているソフトウェアに関する情報は、ホームページで随時公開される予定です。以下の手順で、最新情報を確認してください。

なお、ホームページを見るにはパソコンをインターネットに接続できる環境と、プロバイダ契約が必要です。

ツール画面



[更新を確認]

- 1** パソコンをインターネットに接続する。
詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 2** XYZデスクトップを起動する。
- 3**  (ツール) をクリックする。
ツール画面が表示されます。
- 4** [更新を確認] をクリックする。
Sony Mobileのホームページが表示されます。
(<http://www.sony.co.jp/SonyMobile>)
ソフトウェアの最新情報について詳しくは、ホームページをご覧ください。

XYZ本体のファームウェアを更新する機能について

XYZ本体には、ファームウェアを更新するための機能が搭載されています。更新方法について詳しくは、上記ホームページで更新のご案内とあわせてお知らせする予定です。

その他

主な仕様.....	106
お手入れ.....	107
商標と著作権について.....	108
困ったときは.....	109
エラーメッセージ.....	111
保証書とアフターサービス.....	112
用語集.....	112
索引.....	115

主な仕様

付属品

「準備1：付属品を確認する」(16ページ)をご覧ください。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

NVA-HS1本体

使用温度範囲	+5°C～+45°C
電源	DC12V
消費電流	約0.2A
接続端子	XYZ本体接続端子： USB2.0 (Hi-SPEED) 端子 (5PIN)
出力端子	映像/音声出力 (1系統)： ミニジャック
最大外形寸法	141.0×42.7×75.0mm (幅×高さ×奥行き) (最大突起部含まず)
質量	約95 g

インストールCD-ROM

収録ソフトウェア

XYZデスクトップ
XYZビデオマネージャー
XYZマップマネージャー
SonicStage
XYZシンクマネージャー

XYZ本体は上記の収録ソフトウェアおよびVer.4.0以降のGiga Pocketに対応しています。

これらのソフトウェアが更新されたときは、XYZ本体のファームウェアの更新も必要になる場合があります。

ソフトウェアの最新情報については、Sony Mobileのホームページ (<http://www.sony.co.jp/SonyMobile>) でお知らせします。詳しくは、「ソフトウェアの最新情報を確認する」(104ページ)をご覧ください。

お手入れ

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

「取扱説明書」に従って正しい取り扱いをしてください。

お手入れについて

以下の点に注意して行ってください。

- 必ずホームステーションのUSBスイッチをOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
- 乾いた柔らかい布、または水を硬く絞った布で軽く拭いてください。
- アルコールやシンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 液体状の洗剤などは使わないでください。XYZ本体の内部に入って故障の原因となります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、色落ちや変色することがあります。
- 殺虫剤やヘアスプレーのような揮発性のものをかけたり、ゴム、ビニール製品、防虫剤などに長時間接触させると、変質したり、塗装がはげることがあります。

廃棄について

以下の点に注意して行ってください。

- 一般の廃棄物と一緒にしないでください。
- ごみ廃棄場で処分されるごみの中にホームステーションを捨てないでください。

個人情報について

「使用上のご注意とお手入れ」（別冊の「取扱説明書」184ページ）をご覧ください。

商標と著作権について

- Microsoft、Windows、DirectXおよびWindows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- 本書ではMicrosoft® Windows® 2000 Professionalの記載をWindows 2000として記載しています。
- 本書ではMicrosoft® Windows® Millennium Editionの記載をWindows Meとして記載しています。
- 本書ではMicrosoft® Windows® XP Home EditionおよびMicrosoft® Windows® XP Professionalの記載をWindows XPとして記載しています。
- Intel、PentiumはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- “Memory Stick” (“メモリースティック”)、 “Memory Stick DUO”、 “Memory Stick PRO”、 “Memory Stick PRO DUO” および  は、ソニー株式会社の商標です。
- SonicStage、OpenMG、ATRAC、ATRAC3、ATRAC3plusはソニー株式会社の商標です。
- CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright © 2000-2003 Gracenote. Gracenote CDDB® Client software, copyright 2000-2003 Gracenote. This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593, and other patents issued or pending. Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo, and the “Powered by Gracenote” logo are trademarks of Gracenote.



その他、本文中に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では©、®、TMマークは明記していません。

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアである「NetBSD」及び「D3DES」が搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社は以下の内容をお客様に通知する義務があります。下記内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

<NetBSD>
Copyright © 1986,1993-1994
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

<D3DES>
Copyright © 1988,1989,1990,1991,1992
by Richard Outerbridge.
(GEnie : OUTER ; CIS : [71755,204])
Graven Imagery, 1992.

困ったときは

使用中にトラブルが発生したときは、以下の指示に従ってください。

付属のインストールCD-ROMからソフトウェアをインストールするとき/XYZ本体をホームステーションに接続したとき
本書の「困ったときは」で調べてください。

ソフトウェアを使用しているとき

使用しているソフトウェアのヘルプで調べてください。

そのほかの場合については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。
上記の方法でも問題が解決しないときは、お客様ご相談センター
(裏表紙)、またはお買い上げ店へご相談ください。

付属のインストールCD-ROMからソフトウェアをインストールするとき

症状	原因および処置
インストールできない。	<ul style="list-style-type: none">• 対応のOS以外のOSを使っている。パソコン環境を確認してください(17ページ)。• すべてのWindowsのプログラムが終了していない。他のプログラムが起動した状態でインストールを行うと、不具合が生じることがあります。特にウイルスチェックソフトなどの常駐ソフトは、必ず終了してください。• ハードディスクの空き容量が足りない。ハードディスクの空き容量は200MB以上必要です(1.5GB以上推奨)。
インストール作業が止まっているように見える。	<ul style="list-style-type: none">• 警告などのメッセージが、インストール画面の後ろに隠れている。[Alt]キーを押しながら[Tab]キーを押してください。メッセージが表示されますのでメッセージに従って操作してください。メッセージが表示されない場合、インストール作業が行われています。そのままお待ちください。
画面上のバーが動いていない/ CDドライブやハードディスクの アクセスランプが数分間点 灯していない。	<ul style="list-style-type: none">• パソコンがインストール作業を続けている。そのままお待ちください。パソコンやCDドライブによっては、インストール終了まで30分以上かかる場合があります。

次のページにつづく →

XYZ本体をホームステーションに接続したとき

症状	原因および処置
XYZ本体が認識されない。	<ul style="list-style-type: none">• XYZ本体に付属のUSBケーブルがしっかり接続されているか確認してください。• 付属のUSBケーブルを抜き差ししてください。それでも認識しない場合は、USBケーブルをはずし、パソコンを再起動させてから接続してください。• XYZ本体の電源を入れてください (22 ページ)。• ホームステーションのUSBスイッチをONにしてください (22 ページ)。• ソフトウェアのインストールに失敗している。XYZ本体をはずし、付属のインストールCD-ROMを使ってもう一度ソフトウェアをインストールしてください (18 ページ)。• USBハブを使っている。動作の保証外です。パソコンのUSB端子に直接接続して使ってください。
付属のUSBケーブルでパソコンにつないでも、XYZ本体が認識されない。	<ul style="list-style-type: none">• ソフトウェアの認証を行うために、時間がかかる場合があります。しばらくお待ちください。• パソコン上で他のアプリケーションが起動している。しばらくしてから付属のUSBケーブルを接続し直してください。それでも解決しない場合は、USBケーブルを抜いてからパソコンを再起動してください。
XYZ本体は認識されているが、正常に動作しない。	<ul style="list-style-type: none">• USBハブを使っている。動作の保証外です。パソコンのUSB端子に直接接続して使ってください。
XYZ本体の「地図データ」や「検索データ」を誤って削除してしまった。	<ul style="list-style-type: none">• ナビ用リカバリDVD-ROMからXYZ本体に、「地図データ」や「検索データ」をリカバリしてください (33 ページ)。

エラーメッセージ

付属のインストールCD-ROMからソフトウェアをインストールするとき、それぞれの状況によって、以下のメッセージが表示されます。

メッセージ	原因および処置
Windows95へはインストールできません。	ソフトウェアをWindows 95へインストールしようとしている。 Windows Me、Windows 2000、Windows XP Home Edition/ProfessionalのいずれかのOSを搭載しているパソコンへインストールしてください。
WindowsNT4.0へはインストールできません。	ソフトウェアをWindows NT4.0へインストールしようとしている。 Windows Me、Windows 2000、Windows XP Home Edition/ProfessionalのいずれかのOSを搭載しているパソコンへインストールしてください。

保証書と アフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある「ソニーサービス窓口」にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではこの製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

用語集

ア行

アカウント

パソコンを使う際に必要な権限、またはIDのことです。

アドレス帳

メールアドレスを、名前や電話番号などで検索して探せるメールソフトの機能です。メールアドレスごとに、住所や勤務先などの個人情報も入力できます。

アンインストール

「インストール」をご覧ください。

インストール

ソフトウェアをパソコンにコピーして組み込み、パソコンで使えるようにすることです。逆にソフトウェアをパソコンから削除し、パソコンをインストール前の状態に戻すことをアンインストールといいます。

ウィザード

パソコンのモニターに表示される設定用のウィンドウです。設定に必要な項目が質問形式で表示され、質問に答えて操作すると、目的の設定を完了できます。

エクスプローラー

ファイルやフォルダを管理するためのWindowsの機能です。

カ行

管理者権限 (Administrators)

Windowsで利用制限がかけられていないユーザーのことです。このアカウントでログオンすると、Windows上のすべての操作を行うことができます。

サ行

サスペンド

電源を切る直前の作業状態をメモリに保存して、次に電源を入れたときに保存された状態から作業が始められるパソコンの機能です。同様に、電源を切る直前の作業状態をハードディスクに保存して、次に電源を入れたときに保存された状態から作業が始められる機能をハイバネーションといいます。

スリープ

パソコンを一定時間まったく操作しないとき、パソコンの電源が入ったままでモニターなどの電源が切れ、使用電力を節約する設定です。マウスやキーボードを動かすとモニターなどの電源が入り、スリープは解除されます。スリープの設定について詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

タ行

ダイアログ

パソコンを操作する際のエラーメッセージや、操作を実行してよいかを確認するメッセージなどを、モニターに表示するウィンドウのことです。

退避

XYZ本体の「地図データ」や「検索データ」をパソコンに移動することです。

転送

機器やメディアに保管されたデータを、他の機器やメディアにコピーすることです。

ドラッグ アンド ドロップ

パソコンの画面上でファイルやフォルダなどを移動するためのマウス操作のことです。マウスのポインタをファイルやフォルダなどに重ねてマウスのボタンをクリックし、クリックしたまま目的の場所まで引っ張ることを「ドラッグ」、目的の場所でマウスのボタンから指を離すことを「ドロップ」といいます。

ナ行

ネットワークプロファイル

インターネットやメールをするために必要な設定をまとめた情報のことです。XYZ本体やパソコンは、複数のネットワークプロファイルを保存でき、設定を最初から入力しなくてもネットワークプロファイルを切り替えるだけで、保存した設定を呼び出せます。

ハ行

パーティション変更

XYZ本体のハードディスクの分割の割合を変更することです。XYZ本体のハードディスクは、使用目的により「XYZ HD1」と「XYZ HD2」の二つの領域に分割されており、各領域はその上限までのデータを格納できます。

ハイバネーション

「サスペンド」をご覧ください。

ファームウェア

ハードウェアを制御するために、ハードウェアにあらかじめ組み込まれているソフトウェアです。

ブックマーク

よく見るホームページのアドレスを登録しておく機能です。登録したホームページは、ホームページアドレスを入力することなく、マウスによる操作で表示できます。

ブラウザ

インターネットでホームページを見るためのアプリケーションのことです。インターネットからダウンロードしたHTMLファイルや写真、ビデオ、曲などを、表示したり再生したりできます。

プロパティ

ファイルやフォルダなどの各種情報（作成日時や保存場所、サイズなど）を表示するウィンドウです。ファイルやフォルダを右クリックし、[プロパティ]をクリックすると表示できます。

ライセンスキー

ソフトウェアのインストール時などに入力する認証用の番号やアルファベットのことで、す。

リストア

XYZ本体などの機器に保存されているデータを、パソコンにバックアップしたデータで上書きすることです。

ログオン

パソコンにアカウントとパスワードを入力し、パソコンを操作できる状態にすることです。逆に、パソコンを操作できない状態にすることをログオフといいます。

Administrators

「管理者権限」をご覧ください。

ATRAC HDD

ATRAC3plus形式またはATRAC3形式のファイルをOpenMG技術で暗号化してポータブルハードディスクなどに記録するための規格です。

HTML

HyperText Markup Languageの略で、テキスト文書の1つです。タグという書式で文書を記述し保存すると、ブラウザでホームページとして見ることができます。

MP3

MPEG1 Audio Layer3の略で、音声圧縮フォーマットの1つです。

OS

Operating Systemの略で、パソコン全体を管理する基本ソフトウェアです。WindowsもOSの1つに含まれます。

Outlook Express

Windows 98/2000/XPやInternet Explorerに付属するメールソフトです。メールの作成や送受信、受信したメールの保存や管理ができます。

USB

Universal Serial Busの略で、ホームステーションやキーボード、マウスなど、パソコンと周辺機器を接続するための規格のことです。

WAV

Windows標準の音声ファイル形式のことです。

WMA

Windows Media Audioの略で、音声圧縮フォーマットの1つです。

索引

ア行

アンインストール	19
インストール	18
インストールスタート画面	18
音楽ファイル	
削除する	53
パソコンからXYZ本体に転送する ...	52
パソコンに取り込む	50
XYZ本体からパソコンに戻す	53

カ行

起動	
SonicStage	47
XYZデスクトップ	69
XYZビデオマネージャー	59
XYZマップマネージャー	27
「検索データ」	
削除する	33
ダウンロードする	36
パソコンからXYZ本体に戻す	32
リカバリする	34
XYZ本体からパソコンに退避する ...	31
更新を確認	104

サ行

写真	
削除する	73
パソコンからXYZ本体に転送する ...	72
XYZ本体からパソコンに転送する ...	71
写真コンテンツ	96

タ行

「地図データ」	
削除する	33
ダウンロードする	36
パソコンからXYZ本体に戻す	32
リカバリする	34
XYZ本体からパソコンに退避する ...	31
電源コード	21
転送	
曲	52
写真	71
ビデオ	61
ファイル	89
ブックマーク	83
メールアドレス	79
HTML ファイル	84, 85
同期	96
取り付け	
XYZ本体をホームステーションに取り 付ける	22

ナ行

ネットミュージックストア	51
ネットワークプロファイル	
設定、変更をする	94
転送する	95

ハ行

パーティション変更	100
パソコン環境	17
バックアップ	99
パッケージ取得画面	29
ビデオ	
削除する	64
タイトルを編集する	63
ビデオカプセル	
パソコンからXYZ本体に転送する ...	63
ビデオファイル	
パソコンからXYZ本体に転送する	61, 62, 63
ファイル	
削除する	90
パソコンからXYZ本体に転送する ...	89
XYZ本体からパソコンに転送する ...	91
ファイルコンテンツ	97
付属品	16
ブックマーク	
パソコンからXYZ本体に転送する ...	83
ヘルプの使いかた	14
ヘルプを見る	
SonicStage	54
XYZデスクトップ	74
XYZビデオマネージャー	65
XYZマップマネージャー	42

マ行

メールアドレス	
パソコンからXYZ本体に転送する ...	79
メールアドレスを編集する	80
メモコンテンツ	96
モータ	51

ラ行

ライセンスキー	36, 114
リストア	99, 114
録画ビデオ	
パソコンからXYZ本体に転送する	61

アルファベット順

HTML	84
POWER ボタン	22
SonicStage	13, 46
Sync	96
Sync 動作設定	97
Web コンテンツ	97
XYZ デスクトップ	13, 68, 78, 82, 88
XYZ ビデオマネージャー	13, 58
XYZ マップマネージャー	13, 26

困ったときは

付属の各説明書をご覧ください。

本書および別冊の「取り付けと接続」、「取扱説明書」(NV-XYZ88/XYZ77/XYZ55/XYZ33に付属)には、困ったときに役立つ情報(「困ったときは」「用語集」「索引」「エラーメッセージ一覧」など)が記載されています。

それでもわからないときは下記にお問い合わせください

XYZ(ジーゼット)と関連商品について

- 商品の情報
- アップグレード/更新地図のご案内
- 商品の取り扱い
- お買い物相談
- 商品の故障や修理(型名、お買い上げ日、症状を具体的にご連絡ください。)

VICS情報について

- XYZの調子や使用方法、受信の可否
- 地図表示(レベル3)の内容
- VICS情報の受信エリアや内容の概略

- 文字情報(レベル1)の内容
- 簡易図形表示(レベル2)の内容
- VICSの概念、サービス提供エリア

- VICSの最新情報、FM多重放送局の周波数の情報など

地図の情報について

- 地図データや検索データなど

お問い合わせ先に迷ったら、お客様ご相談センター、またはお買い上げの販売店までご相談ください。

■ XYZ関連ホームページ

XYZホームページ: <http://www.sony.co.jp/XYZ/>
サポートのページには、FAQ(よくあるご質問)やアップグレード/更新地図のご案内などが掲載されています。

Sony Mobile: <http://www.sony.co.jp/SonyMobile/>
Sony Drive: <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>

■ お客様ご相談センター

ソニー株式会社
〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
● ナビダイヤル…………… 0570-00-3311
(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)
● 携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311
● Fax……………0466-31-2595
受付時間: 月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00

電話は自動応答にてお受けしています。

■ (財)VICSセンター(東京センター)

電話によるお問い合わせ

電話番号: 0570-00-8831
(全国から市内通話料金でご利用になれます)
携帯・PHS専用: (03) 3592-2033 (東京)
(06) 6209-2033 (大阪)

受付時間: 9:30～17:45
(土日、祝祭日、年末年始のセンター休日は除く)

Faxによるお問い合わせ

Fax番号: (03) 3592-5494 (全国)
受付時間: 24時間

■ (財)VICSセンターのホームページ

URL: <http://www.vics.or.jp/>

■ 株式会社ゼンリン

フリーダイヤル: 0120-210-616
受付時間: 月～金 10:00～17:00
(祝祭日、株式会社ゼンリン指定休日は除く)



- 主なはんだ付けに無鉛はんだを使用しています。
- 包装用緩衝材に発泡スチロールを使用しません。
- 外箱の表層に100%雑誌古紙を使用しています。
- 主なプリント配線板にハロゲン系難燃剤を使用しません。
- この説明書は100%古紙再生紙とVOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。